

広報

あなたの暮らしのそばに
みはら

特集

「おいしさが生まれる場所を訪ねて」

しよく
みはら
食は三原にあり

気候風土に恵まれ、古くから交通の要衝として多くの人や物が往来し、城下町として栄えてきた三原市。ここでは、収穫した良質な農水産物を、優れた技術で加工し、それを提供することで人をもてなす独自の食文化が育まれてきました。

そして、味を追い求め、食を大切にする心は、今も人々に受け継がれています。「食は三原にあり」。おいしさの生まれる場所を訪ねました。

12

平成28(2016)年
第141号

地酒

かつて酒どころとして隆盛を誇った三原。現在、酒蔵の看板を掲げているのは酔心山根本店のみとなりました。画聖 横山大観が生涯愛飲し、数々の品評会で高く評価される「酔心」は、私たちにとって唯一の地酒であり、誇るべき銘酒。受け継がれる酒づくりの技と心とその味を支えています。

原材料へのこだわり

夜明け前、酔心沼田東工場を訪ねると、作業服姿の男性が笑顔で迎えてくれました。「朝6時には作業を始めます。冬場は体に応えますが、寒くならんとうまい酒はできんです」。平暉重さん、72歳。この道一筋53年、

受け継がれる唯一無二の誇り



仕込み後の^{かい}權入れ。温度を均一にし、原料がよく混ざるよう權を上下させてかき混ぜます



酔心の全てを知る総社氏です。案内してもらおうと、すでに高圧の蒸気で酒米を蒸し上げる「蒸米」の準備が始まっています。

酒づくりの時期は10月下旬から翌年3月末ごろまで。沼田東工場では、酒米に水分を含ませる浸漬などの原料処理に始まり、蒸米、麴づくり、酒母(酏)



右/緊張感のある蒸米の作業。平さんが蒸し上がりを細かく確認
左上/正門には新酒ができたことを知らせる笹が立てられています
左下/発酵の進みを細かく調整するため、1日何回もアルコール度数を測定します

づくり、酒母と麴・蒸し米・水を合わせる仕込み、仕込みでできたもろみの発酵、もろみを搾って原酒と酒粕に分ける作業まで、主要な工程を担っています。原料となる米は、著名な酒米の中でも最高級とされる兵庫県の三田産の山田錦や県内産の中生新千本など。どれぐらい米を削



東町一丁目の酔心山根本店。酒屋格子となまこ壁の趣きのあるたたずまい

つたかを表す精米歩合は最低65%、高いものでは30%まで磨き込みます。50%以下が大吟醸酒と定められる中で、いかに良質な日本酒を作っているかが分かります。

仕込み水に使うのは県中央部・鷹ノ巣山の山麓で採取した井戸水。ブナの原生林で育まれたこの水は、ミネラル分をほとんど含まない超軟水です。軟水醸造の酒は豊かな香りや口当たりの良さが特徴とされますが、「この水を使うと味がさらにキメ細かく、後切れが良くなる」と平さんも太鼓判を押します。

「原料処理で水分量を微調整し、発酵も細かく温度管理して進み具合を調整する。搾りの時期の見極めもある。もちろん外気温や湿度の影響も受けるから

ただ、「同じ米と水を使っても、毎回違うから酒づくりは難しい」と平さんは言います。それは「酒づくりは生き物が相手」だから。「米も水も自然の産物。醸造も微生物の力を借りる。簡単に人間の思い通りにはならんですよ」と表情を引き締めます。米の出来はその年の天候に左右されます。高温障害や冷害の影響を受ければもちろん、通常の生育でも米の水分量や硬さが違います。高品質な酒を安定して作るには、その違いを技術でカバーする必要があります。

銘酒への高いハードル



銘酒・酔心の全てを知る総杜氏・平暉重さん

「原料処理で水分量を微調整し、発酵も細かく温度管理して進み具合を調整する。搾りの時期の見極めもある。もちろん外気温や湿度の影響も受けるから

受け継がれる技と心

大変なんです」と平さん。それに加え、超軟水の酒づくりは通常よりも難しいとされています。軟水は硬水に比べてミネラル分が少ない分、発酵を促す力が強くありません。長い時間をかけ、穏やかに発酵させるため、麹も長時間働くものが必要で、平さんによれば、「発酵温度の変化を折れ線グラフにすると、クジラの背のようになだらかになるのが理想」です。



酒蔵のシンボル「杉玉」が掲げられた店内

こうした部分で問われてくるのが職人の力量。「経験を重ね、時間なら秒、温度なら分の単位まで感覚でつかむことが求められる」と平さんは力を込めます。

「当時はこの時期だけの季節労働。みんなで蔵に住み込み、寝る間も惜しんで作業に当たった。若い人は杜氏や先輩から基本を叩き込まれた」と平さん。それを繰り返すことで、「酔心の酒づくりが体の隅々まで染み込んでいった」そうです。

き出した数値を重ね合わせ、細かく修正する技術が欠かせません。「だから、若い人には自分の手で温度を計り、色を見、香りを嗅ぐことを強く言つ」と平さんは言葉を強めます。

「当時はこの時期だけの季節労働。みんなで蔵に住み込み、寝る間も惜しんで作業に当たった。若い人は杜氏や先輩から基本を叩き込まれた」と平さん。それを繰り返すことで、「酔心の酒づくりが体の隅々まで染み込んでいった」そうです。



酔心をこよなく愛した日本画家 横山大観(中央)と3代目当主・山根 薫さん(左から2人目)

タコ

瀬戸内海有数のマダコの産地、三原。味が濃く、身がやわらかい三原のタコのほとんどは、江戸時代以前から代々続く伝統のタコつぼ漁で捕られています。

そこには長い間、自然を敬うことで、漁場を守り、タコと共に生きてきた漁師の知恵と技が息づいています。

8月中旬の午前4時半。旭町の船溜まり場から漁船がエンジン音を響かせて出ていきます。めざすはタコつぼが沈めてある沖の漁場。三原の漁師に伝わるタコつぼ漁の始まりです。船の舵を取る赤穂清人さんは

伝統のタコつぼ漁

この道45年の大ベテラン。「この時期の海は静かでええわ」。船は夜明け前の紫色に染まった瀬戸内海を滑るように進みます。「ここがわしの漁場のひとつよ」。船が幸崎沖で速度を緩めました。三原のタコつぼ漁は江戸時代から代々受け継がれています。つぼを沈める場所も漁師ご

とに決まっています、赤穂さんも父親からこの漁場を引き継ぎました。そうすることで漁場と漁の技を守り、タコの乱獲を防いできたのです。潮の流れを読み、巧みに船を操って位置を修正する赤穂さん。この辺りの水深約20mの海底に、長さ120mのロープに

瀬戸内三原の海から、めざすは全国

漁師の技「山立て」でタコつぼを沈めた場所を探り当てます



左上/船に乗せていただいた赤穂清人さんはこの道45年の大ベテラン
 中上/水揚げ後、すぐに急速冷凍し、商品化された「三原やっさタコ」。三原小学校の児童が描いたイラストの商標シールが貼られます
 右上/ロープ1本当たり100個のタコつぼを休みなく引き上げていきます
 下/夜明け間近、旭町の船溜まり場。三原沖の漁場をめざし、次々と漁船が出ていきます

くくり付けられた100個のタコつぼが沈められています。「これで引っ掛けるんよ」。そう言って金属製のフックを指さしますが、海面には何の目印もありません。

「あそこに赤い屋根の家があるじゃろ。それと向こうの橋と後ろの山の線が重なったところを合わすんよ」。目を細めてはるか遠くを見つめる赤穂さん。陸の何箇所かの目印をもとに、海上での自分の位置を把握する「山立て」と呼ばれる漁師の技です。

見当を付けた場所にフックを降ろし、船をゆっくり動かします。「かかった」と赤穂さん。フックを引き上げると先端にロープがしっかりと掛かっています。まさに一発必中。「もう何十年もやっとなるんじゃけえ、まず失敗せんな」と涼しい顔です。

三原のタコがおいしい理由

船の横に取り付けてある巻き上げ機にロープを掛けたら、いよいよつぼの引き上げです。手元のレバーで動力を入れると、海面から次々とつぼが上がってきます。1個の重さは約5kg。海水が入り、さらに重みを増したつぼを力強く甲板に引き上げていきます。

「これ、おるよ」。赤穂さんがこちらへ寄こしてくれたつぼの中から、1匹のタコがはい出してきました。頭の大きさはソフトボールぐらい。始めはゆっくと、そしてここが海の底ではないと分かると、全身をくねらせながら勢いよく甲板の端へ移動していきます。

その姿はまるで走っているように。「三原のタコは足が強いけえ、逃げるのも速いんよ」と赤穂さん。なんでも三原沖は瀬戸内海の中でも潮の流れが速く、タコは岩にしっかりと張り付いていないと流されてしまうとか。そのため体は筋肉質で引き締まり、足も太くて短いのが特徴です。「見た目は不細工じゃが、身は水っぽくなくて味が濃い」のも、こうした理由からです。

こうしている間にも、つぼはどんどん上がってきます。約1時間かけて全て上げ終えてしまいう間に、船のいけすには20匹余りのタコが収まっていました。

一息ついたのも束の間、再び山立で位置を確認し、潮を見ながらつぼを沈めていきます。タコつぼ漁師は5、15本のロープを海に沈め、多い人で1日10

本を上げ沈めするそうです。つぼを引き上げながらタコを捕らえ、それを再び沈めるのは想像以上に大変な作業でした。

全国に誇れるブランドへ

タコつぼ漁は1年を通して行われますが、春と秋の1カ月はタコが産卵期に入るので休漁します。漁期でも卵を持ったタコや小さなタコが捕れば、海へ返すのが慣わし。限りある漁業資源を守るためです。

現在、三原市漁業協同組合では、市内で水揚げされるタコをやっさ祭りにちなみ、「三原やっさタコ」と商標登録してブランド化を進めています。毎年、水産教室でタコつぼ漁を学ぶ三原小学校の児童が描いたタコの絵を出荷シールに用いるなど、他の産地と差別化を図っています。味の良さに加え、つぼ漁で捕られた三原のタコは傷が少なく、高級食材として市場で高く評価されています。

自然を敬い、祖先からの技を受け継いでいくことでタコと共存してきた三原のタコつぼ漁。そこで捕れた三原やっさタコが全国の食卓に上がる日はそう遠くはありません。

人の往来や交易で花開いた文化



おやつ

食べるとなぜか気持ちが穏やかにになり、ほっとするおやつ。

おやつは人と人との間を優しく取り持ち、人間関係を円滑にする仲介役。味だけでなく、その見た目でも人の心を華やかにしてくれる魔法の食べ物です。

三原のおやつには、食べる人を笑顔にしたいというおもてなしの心が込められています。

三原が『おやつ』の理由

市内には、おやつを提供する専門店や喫茶店が数多くあり、全国的に名前を知られた銘菓がいくつも生まれています。これは三原が古くから交通の要衝であったことに由来するといわれています。

江戸時代、三原は西国街道の宿場町として栄え、糸崎港には風待ちで多くの貿易船が入港しました。近代になって山陽本線や新幹線、四国から本州への玄関口として三原港が整備され、多くの人や物が往来するようになりました。

駅や港の周辺に、客人をもてなし、乗り換えの待ち時間を過ごすための喫茶店や、手土産を

買い求めるための製菓店が次第に増えていき、そこで独自のおやつ文化が花開いたのです。そして、お菓子が「スイーツ」、喫茶店が「カフェ」と呼ばれるようになった現代、三原のおやつ文化は新たな一歩を踏み出そうとしています。

地産とイタリアンの調和
大和町・白竜湖の湖畔。ドライブヤツリーングで多くの人が立ち寄る道の駅「よがんす白竜」で人気なのが、ともに町特産のハトムギと果物を使ったチーズケーキです。



右上/産直果実とハトムギのチーズケーキ
右下/入れているのはイタリア産のリコッタチーズ。クリーミーな食感を引き出す名脇役です

左/「大和の農産物の新たな魅力を引き出したい」と話す駅長の高東浩昭さん



考えたのは、駅内のレストラ
ン「YOGANSU」でイタリア
料理の腕を振るう駅長の高東浩
昭さん。「洗練されたイタリアン
のデザートを、大和町の特産品
を使って作りたかった」ときつ
かけを話します。

チーズケーキは、焙煎したハ

トムギの全粒粉を練り込んだタ
ルト生地、3種類の欧州産
チーズをふんだんに使った一
品。「大和の四季を感じてもら
いたい」と、チーズの間には、地元
で収穫されたモモやリンゴなど
旬の果物を入れました。

レストランでは、チーズケー



右/「久井の恵みを受けた自然薯を食べてみて」と仙石一博さん・ヤチヨさん夫婦
左上/すり下ろした自然薯を混ぜたアイスクリーム
左下/毎日欠かせない畑の手入れ。茂った葉は土の中の自然薯が元気に育っている証拠です



キのほかにもハトムギを使った
ソフトクリームなども商品化し
ており、「独特のほろ苦い味が甘
さを引き立たせてくれる。お客
さまにも、口に含んだときに広
がる香ばしさが好評」と高東さん
は言います。

現在、ハトムギのほか、レン
コンや大和芋など大和町の農産
物を使った新しいスイーツの開
発にも取り組んでいる高東さん。
「スイーツにすることで、地元の
農産物がおいしいことを知って
もらえれば」と意欲を燃やしてい
ます。

恵まれた気候風土が 生んだ個性

内陸性の気候と良質な土壌が
質の高い農作物を育む久井町。
「せんちゃんファーム」では栽培
している自然薯をアイスクリー
ムにして評判を呼んでいます。
疲労回復や消化促進、免疫力
を高める効果がある自然薯。こ
の効能に着目し、「新たな久井町
の特産にしたい」と仙石一博さ
ん・ヤチヨさん夫婦が約7年前
から栽培を始めました。
土作りからこだわり、丹精込
めて育てた自然薯は、昼夜の寒
暖差が大きい久井の気候の恩恵

を受け、「きめが細かくて粘りが
強く、食感がもちもちしている」
と評判も上々です。

そんな自慢の自然薯を「手軽
に食べられるスイーツにできな
いか」。そう思い立ったヤチヨさ
んは、自家製の乳製品を販売し
ている知人に相談。試作を重ね
た結果、この「自然薯アイスク
リーム」が完成しました。

粉末にした自然薯が入ったア
イスクリームは舌触りがなめら
かですっきりとした後味が特徴。
「別の食感も味わってほしい」とヤ
チヨさんが勧めるのは、すり下
ろした自然薯を混ぜる食べ方。「
すこく粘りが出て、食感が面白
い」と話題になっています。

おやつで笑顔溢れるまちへ

現在、市内には製菓店やカフ
エ、レストランなどお菓子やス
イーツを取り扱う店が約60店舗
あります。おやつは市民にとつ
て身近な存在です。

食べる其自然に笑顔になるお
やつは、人と人の心をつなぐコ
ミュニケーションの演出家。三
原が笑顔の溢れる、訪れる人に
やさしいまちなのも、こうした
おやつのおかげかもしれません。

「三原食」を全国へ
ブランド化推進事業
「幸せの三原ぐるめ」
を展開中

瀬戸内の海幸山の幸



市は現在、「タコ」地酒
「おやつ」の3品目を「三原
食」と称し、全国に通用する
ブランドとして確立するた
めの取り組み「幸せの三原
ぐるめ」を実施しています。

現在、その第1弾として
広島東洋カープと提携し、
魅力ある三原のタコ、地酒、
おやつをより多くの人に味
わってもらえるキャンペー
ンを展開中です。

詳しくは「幸せの三原ぐ
るめ」ホームページ
(<http://mihara-gourmet.jp/>)
で確認できます。

問い合わせ先 観光課 ☎
0848・67・6015

私が考えたタコタコライス。 皆さん、作ってみてくださいね!

自然豊かな三原にはたくさんの特産物があります。その中でもタコはさまざまな料理やお菓子の材料になっています。

タコはタウリン、ビタミンB2などの栄養素が豊富で、歯ごたえも楽しめます。

タコタコライスにはひき肉やキャベツ、小松菜が入っていて、お好みでアボカドなども加えていただければ、さらにおいしく栄養バランスも良くなりますよ。

三原の良いところをもっと知ってもらいたいという気持ちで考えました。ぜひ、皆さんのご家庭でも作ってみてくださいね。

大和中学校3年
はら えな
原 夏那さん



タコタコライスのレシピ

材料4人分

白米	2合
たこ(ゆで)	80g
酒	小さじ2分の1
豚ひき肉	60g
たまねぎ	1個
小松菜	60g
トマト(缶)	80g
キャベツ	120g
合わせ調味料	
{ カレー粉	小さじ1
{ 塩	少々
{ こしょう	少々

オイスターソース	小さじ4
トマトケチャップ	小さじ1
しょうゆ	小さじ1

作り方

- ①たこを1cm角に、たまねぎをみじん切りに、小松菜を細かく切る
- ②キャベツを茹で、せん切りにする
- ③たこを茹で、酒をふ

- ④豚ひき肉、たまねぎを炒める
- ⑤④に火が通ってきたら、トマトと小松菜を加え、さらに炒める
- ⑥合わせ調味料とたこを加える
- ⑦炊きたてのご飯に、キャベツのをせ、その上に⑥の具を盛り付けたら完成



学校と家庭、地域が一体となって食育に取り組む広島県の「ひろしま給食100万食プロジェクト」。県内産の身近な食材を取り入れ、家庭で簡単にできるレシピを小・中学生から募集する平成28年度「ひろしま給食」レシピコンテストで、大和中学校3年の原夏那さんの「タコタコライス」が最優秀レシピ

賞を受賞しました。原さんのタコタコライスは、沖縄発祥のタコライスに三原特産のタコを入れ、栄養バランスをさらに良くした一品。10月には県内の給食実施校で統一メニューとして提供され、市内では公立小・中学校の子どもたちがタコタコライスに舌鼓を打ちました。



「おいしいね」「おかわり!」。教室に元気な声が響きました(本郷小学校)

名物スイーツづくりに挑戦 糸崎小学校

糸崎小学校の5・6年生が、ものづくりや郷土の産業などについて学ぶ授業の中で、市の新たな特産品づくりに取り組み、株式会社八天堂と共同で「くりーむパン」の新商品を開発しました。

子どもたちは三原の歴史や農水産業などを学んだ後、八天堂で工場見学、パン作りなどを体験。小早川隆景が父・毛利元就から受けた「三矢の訓」にちなみ、バナナとチョコレート、ピーナ

ッツの3つを具材にした「くりーむパン チョコバナナ」を考案し、八天堂がアイデアを元に商品化しました。

先月の浮城まつりでは、子どもたちが特設売り場に立ち、「このパンを食べて、三原と隆景公のことを知って」と笑顔で買った人に手渡しました。

新商品は道の駅「みはら神明の里」のほか、八天堂の店舗でも販売される予定です。



右上/「全国の人に三原を知ってほしいという思いを込めました」と5年生代表の榎琉星さんと砂田乃綾さん

右下/パン作り体験ではクリームへの注入にも挑戦

左/浮城まつりでは笑顔で接客しました





熊谷喜八さん

日本を代表する料理人。パリの一流店で修業し、世界最高の料理人といわれるジョエル・ロブション氏率いるレストランでは部門シェフを務める。帰国後、有名店の料理長を歴任した後、自身の店「KIHACHI」をオープン。フランス料理をベースにした無国籍料理、イタリアン、カフェなどを展開。テレビや雑誌にも多数出演する。

料理界の巨匠 熊谷喜八さんが三原の食材を語る 食の力で三原を元気にしたい。

くまがいきはち

三原の食材を使い、至高のメニューを生み出している熊谷喜八さん。今年1月、「三原の食材×熊谷喜八 スペシャルディナー」でオリジナリテイー溢れる料理を披露したのに続き、10月には佐木島の浜辺を舞台に趣向を凝らしたバーベキュー料理で来場者をうならせました。

「料理人としてお客さまの口に入るものには絶対的な責任を持つ」と、安全とおいしさにこだわって食材を吟味する熊谷さん。そんな料理界の巨匠に、三原の食材についてお聞きしました。

「気候風土に恵まれた三原の食材は、どれも味が濃く、旨味が強い印象があります。1月のディナーの準備では、タコつぼ漁を視察させてもらいました。タコが育つ環境や漁の技を見て、三原のタコ文化やおいしさの理由を理解することができました。

食材は生産者の皆さんが、こだわり、苦勞を重ね、愛情を込めて作り出したものです。私の仕事は、こうしたストーリーを受け止め、提供してくれた人、食べてくれる人の期待を裏切らないよう、最高の料理に仕立てることです。

「食」には大きな力があります。私は「食べることは人生最大の楽しみだと思っています。食の力で地域が思いもよらなかったような発展を遂げた例もあります。例えば、スペインが多くのブランド食材を産出することで有名国の仲間入りをしたように。食は国さえ変える力を持っているSAYO。」



今年1月、フォレストヒルズガーデンで行われたスペシャルディナー。ホテルの料理人と厨房に立つ熊谷さん

喜八さんが三原の食材に魔法をかける 「三原の食材×熊谷喜八」 スペシャル・ディナー Vol.2

来年1月21日(土) 17時30分～

トークと目の前で展開されるライブキッチン。熊谷喜八さんが再び三原の食材と向き合い、新たな可能性を広げます。匠の技に触れ、その味を堪能できる絶好の機会です。

ところ フォレストヒルズガーデン(本郷町善入寺)

※隆景広場(JR三原駅西口)から無料送迎バス(要予約)があります。

定員 120人(申し込み先着順)

料金 14,000円(サービス料・税込み、フリードリンク、特別レシピ付き)

申し込み先 三原観光協会
(☎0848・67・5877)

三原には食に情熱を注いでいる人がたくさんいます。私も同じ食に関わる人間として、刺激を与え合える関係でいたいと思います。三原が元気になるお手伝いができれば幸いです」



三原駅前 みはら歴史館がオープン



▲多数の展示物で三原の歴史や文化を紹介するみはら歴史館

市は先月5日、JR三原駅前のペーシテイ三原西館1階にみはら歴史館をオープンしました。

歴史館は瀬戸内三原築城450年事業の一つとして整備しました。約450㎡の展示スペースを、やっさ祭りなど市の年中行事や特産品を紹介する「文化・伝統」、江戸時代に使われた甲冑や武器の模造品などを展示する「城下町」、三原城の模型や三原小学校所蔵のしゃちほこなどを置く「三原城・小早川隆景・歴史」の3ゾーンに分け、三原の歴史や文化を紹介する貴重な資料などを展示しています。

このほか、隆景の活躍や新高山城、三原城の構造などを解説したビデオ「小早川隆景ものがたり」視聴コーナー、床

面も含めて随所に年表や古地図などのパネルを設置しています。

現在、企画展として来年1月15日まで、かつて10軒余りの酒蔵が軒を連ねた酒どころ三原の歴史を振り返る「名醸三原酒」を開催中。企画展は今後、順次テーマを変えて行う予定です。

開館時間は9時～17時。入館料は無料。年末・年始は休館。

☎築城450年事業推進担当室
0848・610450

建物火災を想定し 消防訓練を実施

市消防は先月13日、J・A三原久井中央支店(久井町羽倉)で消防団久井方面

隊と合同訓練を実施し、火災発生時の連携体制などを確認しました。

訓練は店内の給湯室から出火・延焼し、負傷者が出た想定で実施。職員が利用者の避難誘導と重要文書の搬出を行い、火災に気づいた住民が消防に通報、消火器で初期消火に当たりました。

その後、消防車と救急車がサイレンを鳴らして現場に到着し、逃げ遅れた職員の救助と負傷者の搬送、放水による消火活動などを行いました。

市消防は空気が乾燥する冬場に備え、毎年この時期に消防団との合同訓練を実施しています。今回も、市民による通報、避難誘導、初期消火が迅速に行なわれ、消防隊の救助・消火活動と連携がとれた訓練となりました。

市消防では、今後も消防団や事業所

などと連携し、火災予防や被害拡大の防止に努めていきます。



▲やけどを負った想定職員(人形)を搬送する救急隊員

☎消防本部警防課
0848・645924

新庁舎建設通信③ 議会棟の解体工事を 実施しています

新庁舎の建設に伴い、10月から議会棟の解体工事を実施しています。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

解体に伴い、議会棟周辺の駐車場がなくなっています。正面入口周辺の駐車場を利用してください。敷地内の駐車場が満車の場合は、リージョンプラザ隣の市営円一町駐車場(本庁舎内で手続きすれば、2時間まで無料)を利用してください。



▲正面入口周辺の駐車場



▲解体中の議会棟

☎庁舎建設担当室 ☎0848・67・6022



年末・年始 市の業務

年末・年始の休業期間は、次のとおりです。
■が休みです。

施設名	12月				1月			
	28日 (水)	29日 (木)	30日 (金)	31日 (土)	1日 (日)	2日 (月)	3日 (火)	4日 (水)
市役所本庁、各支所(※1)								
市役所本庁の自動交付機								
サン・シープラザ								
本郷・久井・大和保健福祉センター								
芸術文化センター ポポロ								
みはら歴史館								
児童館								
市民福祉会館								
リージョンプラザ								
大和勤労福祉センター								
三原市・本郷・大和人権文化センター								
中央・本郷・久井・大和図書館								
三原市・久井歴史民俗資料館								
中央公民館、各公民館・コミュニティセンター								
地域学習センター(さざなみ学校)								
本郷生涯学習センター、くい文化センター、大和文化センター								
やまみ三原運動公園	年末・年始も開園(※2)							
久井運動公園								
白竜湖スポーツ村公園								
本郷体育センター								
北方グラウンド・ゴルフ場							無料開放	無料開放
清掃工場、不燃物処理工場(※3)								
ストックヤード(清掃工場内)								
エコワイズセンター(久井地域)(※3)								
し尿の収集(※4)								
斎場(三原市斎場・本郷斎場・やすらぎ苑・西和苑)								

※1 出生、死亡、婚姻など戸籍の届け出や埋火葬、斎場の申請などは、上記期間に関わらず市役所本庁地下1階、または各支所の警備室で受け付けます。

※2 12月30日(金)～1月3日(火)は開園時間が8時～17時(1月1日(日)は13時～17時)となります。

※3 詳しくはかんきょうカレンダーで確認してください。問い合わせは環境管理課(☎0848・63・1210)へ。

※4 問い合わせは汚泥再生処理センター(☎0848・66・0405)へ。

市議会定例会の 日程(予定)

次の日程で12月定例会の開催が予定されています。

市議会は公開しています。傍聴は当日、議事堂で受け付けます。

※議事堂は新庁舎建設に伴い、ゆめきやりあセンター(館町二丁目)に一時移転しています。

定員 本会議45人、各委員会5人程度
※定員を超えた場合、入場できないことがあります。

と き	内 容
6日(火)	本会議:開会
8日(木)・ 9日(金)	本会議:一般質問
12日(月) 14日(水)	10時～ 常任委員会
15日(木)	補正予算特別委員会
19日(月)	14時～ 本会議:閉会

☎議事事務局

☎0848・67・6138



三原市の家計簿

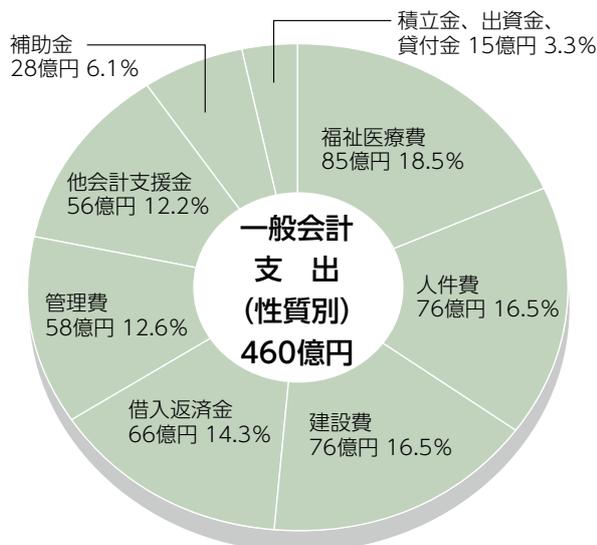
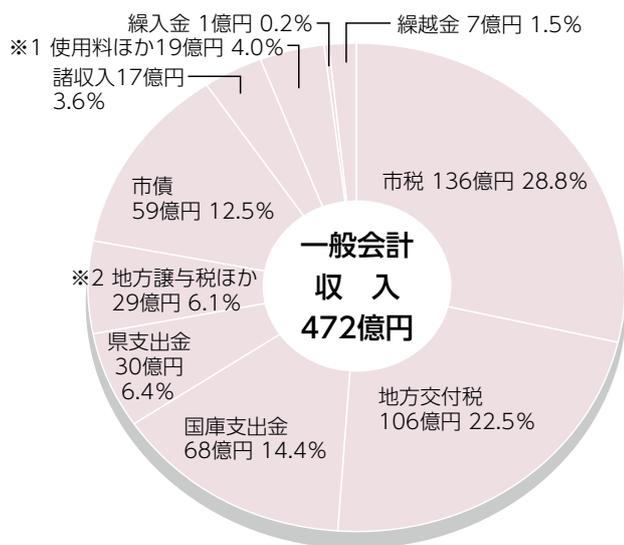
平成27年度の決算についてお知らせします

平成27年度は平成26年度に引き続き、一般会計、特別会計とも赤字ではありませんでした。

平成27年度の決算

●平成27年度の決算状況

会計	収入 (A)	支出 (B)	平成27年度に使うことが決まっている経費 (C)	収支 (A-B-C)
一般会計	472億円	460億円	3億円	9億円
特別会計	304億円	299億円	0億円	5億円
合計	776億円	759億円	3億円	14億円



※1 使用料ほか…手数料、分担金、負担金、寄附金、財産収入を含みます。
 ※2 地方譲与税ほか…地方消費税交付金、地方特例交付金などを含みます。

●市の財政を家計に例えると？

1カ月当たり31万5,000円※を支出する家計に置き換えると、市の収入と支出の状況は次のとおりです。※平成27年総務省家計調査による平均消費支出から。

収入の内訳

市の収入項目	家計の収入項目	金額
市税	給料	92,977円
地方交付税、国・県支出金、地方譲与税ほか	親からの援助	159,457円
市債	借金	40,558円
諸収入、使用料ほか	副業の収入	24,716円
繰入金	預金の取り崩し	395円
繰越金	前月の残り	5,020円
合計	合計	323,123円

支出の内訳

市の支出項目	家計の支出項目	金額
福祉医療費	医療費	58,468円
人件費	食費	52,292円
建設費	家具購入費や車購入の頭金	52,161円
借入返済金	ローン返済金	45,174円
管理費	光熱水道費や家の補修費	39,356円
他会計支援金	子どもへの仕送り	37,895円
補助金	保険の掛け金など	19,388円
積立金、出資金・貸付金	貯金や友人への貸し付け	10,266円
合計	合計	315,000円

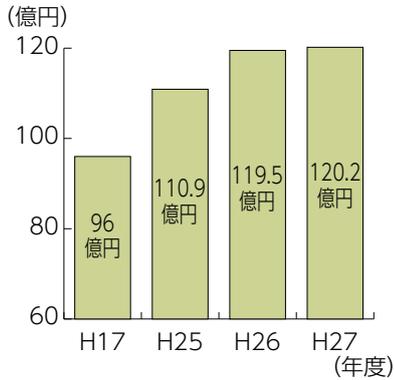


支出は医療費と食費、ローン返済金が約半分を占めとるな。
皆さんの家計と比べてみてはどうかの？

財政課
☎0848・67・6028

●平成27年度決算(普通会計)でみる財政の数値

貯金(積立金)残高の推移



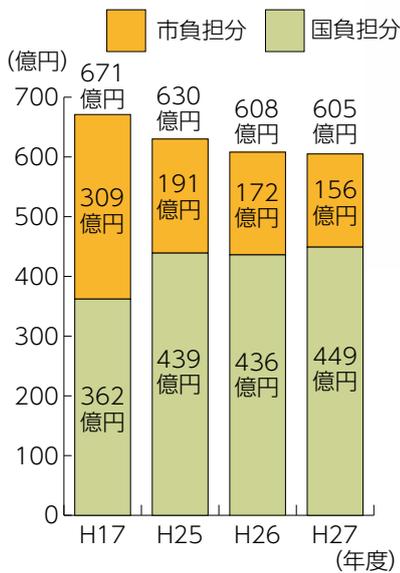
平成27年度はふるさと納税寄付金をみはらふるさと夢基金へ積み立てたことなどにより、貯金の残高は平成26年度と比べて7千万円増加しています。



市民1人当たりだと12万3千円を貯金している計算じゃな。

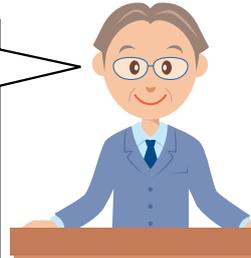


借入金(市債)残高の推移



市の借入金には、返済時に一定の割合を国が負担する制度があるんじゃ。この制度によって、平成27年度の借入金残高605億円のうち、74%に当たる449億円を国が負担するので、市の実質負担は156億円(全体の26%)となるんじゃ。

平成27年度は消防庁舎や第三中学校校舎などの建設のために借入をしましたが、積極的な繰り上げ返済で市負担分の借入金残高は前年度から16億円減少しています。



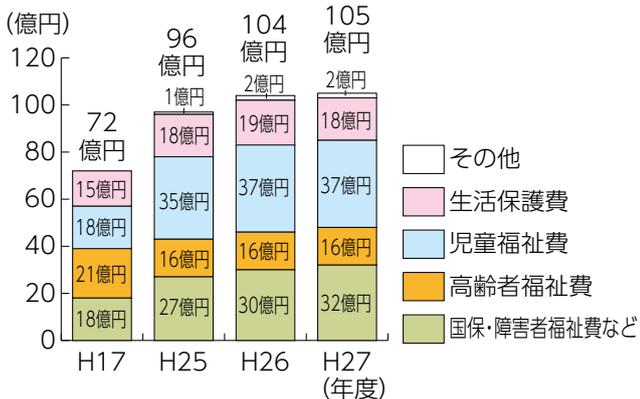
市民1人当たりだと62万1千円の借入金残高じゃが、実質負担は16万1千円となる計算じゃ。



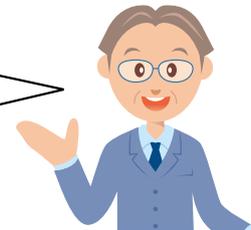
※人口は97,472人(平成28年3月末日現在)で計算しています。

※平成17年度の国と市それぞれの負担額は、現行制度の算定方法に準じて算出しています。

福祉医療費の推移



福祉医療費の総額は、平成17年度の72億円から105億円に増加しています。



児童福祉費は、10年前と比べて2倍に増えておるぞ。乳幼児医療費助成の対象を未就学児から中学生までに拡大し、私立保育所が6園から9園に増えるなど、子育て支援施策を充実させた結果じゃ。



※特別会計への福祉医療費に係る他会計支援金を含みます。



市職員の給与などをお知らせします

平成28年4月1日現在

3 職員の平均給料月額と平均年齢

区分	一般行政職	
	平均給料月額	平均年齢
三原市	319,200円	42.2歳
国	331,800円	43.6歳

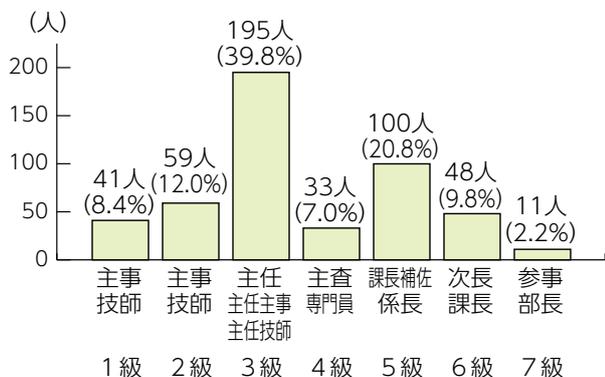
4 職員の初任給

区分		三原市	国
一般行政職	大学卒(上級)	183,300円	181,200円
	大学卒	176,700円	176,700円
	高校卒	149,000円	144,600円

5 職員の経験年数別・学歴別の平均給料月額

区分		経験年数		
		10~14年	15~19年	20~24年
一般行政職	大学卒	278,900円	311,400円	351,400円
	高校卒	224,500円	294,300円	335,500円

6 一般行政職の級別職員数の状況(合計490人)



※職員数は、職務区分による一般行政職の人数(税務職43人、看護・保健職29人、福祉職75人、消防職159人、企業職40人、技能労務職36人、幼稚園教諭30人、指導主事10人を除く)。

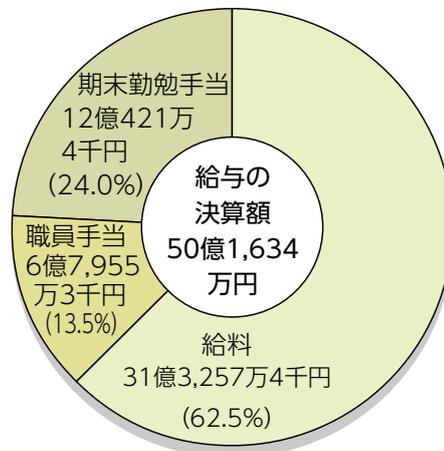
市職員の給与などは、地方自治法および地方公務員法に基づき、市の条例・規則で定められています。給与などについて、主な内容をお知らせします。

職員課 ☎0848・67・6024

1 特別職の給料など

区分	給料・報酬	期末手当 ※平成28年12月1日現在。		
		6月期	12月期	合計
特別職 市長	給料 943,000円	2.025 月分	2.275 月分	4.30 月分
	// 744,000円			
議員	報酬 530,000円	2.025 月分	2.275 月分	4.30 月分
	// 475,000円			
	// 428,000円			

2 職員の給与(平成27年度一般会計決算)



※職員1人当たりの平均給与(給料+手当)は年額約595万円です。

7 職員手当

区分	内 容		
特殊勤務手当 平成27年度	職員全体に占める割合		18.6%
	支給対象職員1人当たり平均支給額		22,870円
	手 当 の 種 類		9種類
時間外勤務手当	平成27年度	支給総額	3億241万3千円
		職員1人当たり支給年額	39万8千円
	平成26年度	支給総額	3億4,719万4千円
		職員1人当たり支給年額	43万8千円

区 分	三原市		国		
	期 末	勤 勉	期 末	勤 勉	
期末勤勉手当	6月期	1.225月分	0.8月分	1.225月分	0.8月分
	12月期	1.375月分	0.9月分	1.375月分	0.9月分
	合 計	2.6月分	1.7月分	2.6月分	1.7月分
	加算措置	職制上の段階、職務の級などによる			
※平成28年12月1日現在。					
退職手当		自己都合	勸 奨	自己都合	勸 奨
	最高限度額	49.59月分	49.59月分	49.59月分	49.59月分
	勤続20年	20.445月分	25.55625月分	20.445月分	25.55625月分
	勤続25年	29.145月分	34.5825月分	29.145月分	34.5825月分
	勤続35年	41.325月分	49.59月分	41.325月分	49.59月分
	退職時の加算、特別昇給など	勤続20年以上で定年前早期勸奨退職特例措置として上記率に2~20%を加算		勤続20年以上で定年前早期退職特例措置として上記率に2~45%を加算	

8 職員の定員

部 門		職員数(人)		対前年比(人)
		平成28年	平成27年	
一般行政部門	議 会	7	7	0
	総 務	161	162	△ 1
	税 務	43	43	0
	民 生	154	152	+ 2
	衛 生	70	69	+ 1
	労 働	0	0	0
	農 水	29	29	0
	商 工	23	20	+ 3
	土 木	89	90	△ 1
	小 計	576	572	+ 4
特別行政部門	教 育	103	110	△ 7
	消 防	163	161	+ 2
	小 計	266	271	△ 5
普通会計 計		842	843	△ 1
公営企業部門など	水 道	40	41	△ 1
	その他	30	30	0
	小 計	70	71	△ 1
合 計		912	914	△ 2

※職員数には地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員などを含み、臨時・非常勤職員は除きます。

区 分	内 容	国の制度との異同	国の制度と異なる内容
扶養手当	<ul style="list-style-type: none"> ●配偶者 13,000円 ●扶養親族 配偶者がいる場合 1人目 6,500円 2人目 6,500円 3人目以降 6,500円 配偶者がいない場合 1人目 11,000円 2人目 6,500円 3人目以降 6,500円 ※16~22歳はそれぞれ5,000円を加算。	同じ	
住居手当	<ul style="list-style-type: none"> ●持ち家の場合 なし ●借家・借間の場合 27,000円以内 	同じ	
通勤手当	<ul style="list-style-type: none"> ●交通機関利用者 負担額が55,000円以下 実負担額 // 55,001円以上 55,000円 ●交通用具使用者 距離により 2,900円~31,600円 	一部国と異なる	●交通用具使用者 距離により 2,000円~31,600円



加入者みんなを支え合う国民健康保険

国民健康保険(国保)は、職場の健康保険などに加入していない74歳までの人が、病気やけがをしたとき、安心して医療を受けるための医療保険制度です。

表1 医療費と介護費用で合算した場合の自己負担限度額(年額・世帯ごと)

年齢	所得区分	対象	限度額
70歳未満	上位所得者	基礎控除後の総所得金額等が、世帯の国保被保険者全員の合計で901万円を超える世帯の人。所得の申告がない場合も上位所得者とみなされます。	212万円
		総所得金額等が600万円超901万円以下	141万円
	一般	市民税の課税世帯で、総所得金額等が210万円超600万円以下の世帯の人	67万円
		総所得金額等が210万円以下	60万円
市民税非課税世帯	世帯主と国保被保険者全員が市民税非課税世帯の人	34万円	
70~74歳	現役並み所得者	自己負担の割合が3割の人	67万円
	一般	市民税が課税されている世帯で現役並み所得者以外の人	56万円
	低所得者Ⅱ	世帯主と国保被保険者全員が市民税非課税世帯の人(低所得者Ⅰ以外)	31万円
	低所得者Ⅰ	世帯主と国保被保険者全員が市民税非課税世帯で、各所得が必要経費・控除(年金の控除額は80万円)を差し引いたときに0円になる世帯の人	19万円

※所得区分は、今年7月31日の医療保険の世帯区分に応じて判定します。

医療費と介護費用が高額になったら
高額介護合算療養費

国保と介護保険で支払った金額の合計額が、表1の自己負担限度額を超えた場合、申請すると超えた額が支給されます。

対象者 今年7月末時点で国保の資格がある人
対象期間 平成27年8月1日から平成28年7月31日

※対象世帯には、今月中に案内文書を送付します。

※対象期間中に医療保険の種類が変わった人は、案内文書が届かなくても支給対象になる場合があります(但し、異動前の医療保険の自己負担証明書が必要)。

詳しくは保険医療課へ相談してください。

※70歳未満の人の限度額は、今年度の対象期間分から変更されています。

◆あんなとき・こんなとき

柔道整復(整骨院など)・鍼灸・マッサージにかかるとき

これらの施術を受けるとき、保険証が使えるのは次の場合に限られます。

- ① 柔道整復：打撲、ねんざ、脱臼など外傷性のケガのとき
- ② 鍼灸：慢性病で医師による適当な治療手段のないもの(神経痛、リウマチ、頸腕症候群、

五十肩、腰痛症、頸椎捻挫後遺症など)で医師の同意があるとき

③ マッサージ：筋麻痺、関節拘縮など医療上必要と医師が認めたとき

※ただし、柔道整復や鍼灸施術は、医療機関において同じ時期に同じ疾患で治療を受けている場合、保険適用されません。施術所の先生の質問にはきちんと答え、正しい利用を心掛けて受診しましょう。

交通事故にあったとき 第三者行為による届け出

交通事故など、第三者の行為によりけがをした場合、その医療費は加害者が負担することが原則です。しかし、賠償が遅れたときは、いったん保険証を使って医療機関にかかることができます。その場合は次のことに注意してください。

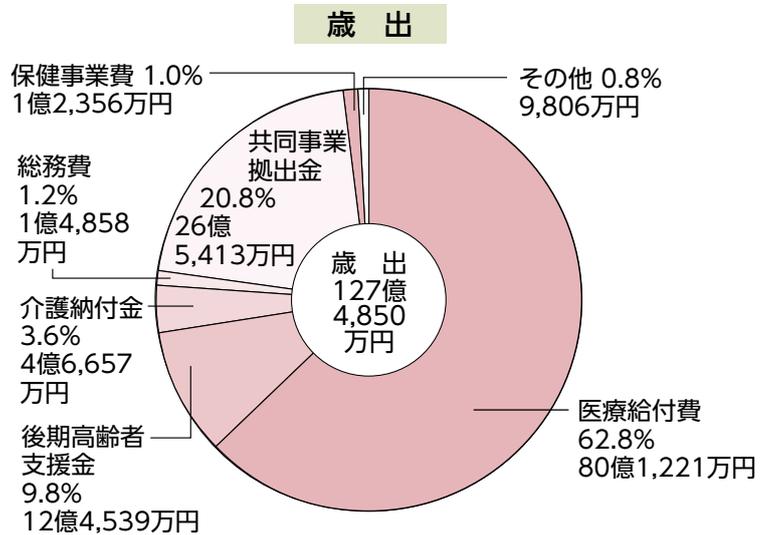
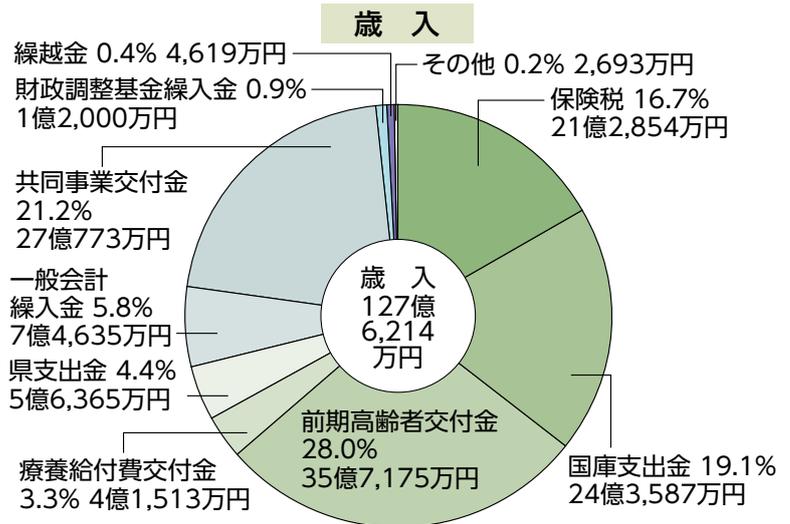
- ・ 事故の程度に関わらず、警察へ届け出をしてください
- ・ 保険医療課に連絡し、「第三者行為による被害届」を提出してください
- ・ 相手(加害者)から治療費を受け取ったり、無断で示談を済ませたりしないでください



国保だより

平成27年度の決算

平成27年度は、1,364万円が次年度への繰越金となりました。しかし、実際には歳入の中に平成26年度からの繰越金4,619万円と財政調整基金繰入金1億2,000万円があり、これらを差し引くと実質は1億5,255万円の赤字となっています。



ジェネリック医薬品による医療費削減報告

国保では、ジェネリック(後発)医薬品に切り替えた場合、自己負担の削減額が大きい人へ通知をしています。

- 平成27年度 削減効果額
1億1,397万9,663円

治療費の支払いが一時的に、著しく苦しくなったとき
〜一部負担金減免の届け出〜

次の①〜③の特別な理由で、入院費などの治療費を支払うことが困難な場合、申請すれば支払う医療費が3カ月間軽減、免除または徴収猶予されることがあります。特別な理由に係る事実が発生した月から6カ月以内に申請が必要です。まずは保険医療課へ相談してください。

- 特別な理由**
- ①地震、火災などの災害により、心身や資産などに重大な損害が生じたとき
 - ②事業の休・廃止または倒産により、収入が前年の2分の1以下に減少したとき
 - ③干ばつ、冷害などの災害により、収入が前年の2分の1以下に減少したとき
- 申請場所 保険医療課
用意する物 保険証、前年と今年の収入が分かる物(②③)



国保医療課

0848・676050



みんなで支えています。介護保険

介護保険は加齢や病気などで、入浴や食事などの介護、機能訓練や看護などの医療が必要となった人に福祉・医療サービスを提供し、いつまでも住み慣れたまちで安心して生活できるように、社会全体で支え合う制度です。

この制度を運営するための保険料は、半分を公費(国25%、県12.5%、市12.5%)で、残り半分を40歳以上の人(40～64歳が28%、65歳以上が22%)が負担しています。

表1 市の65歳以上の人口と高齢化率の推移

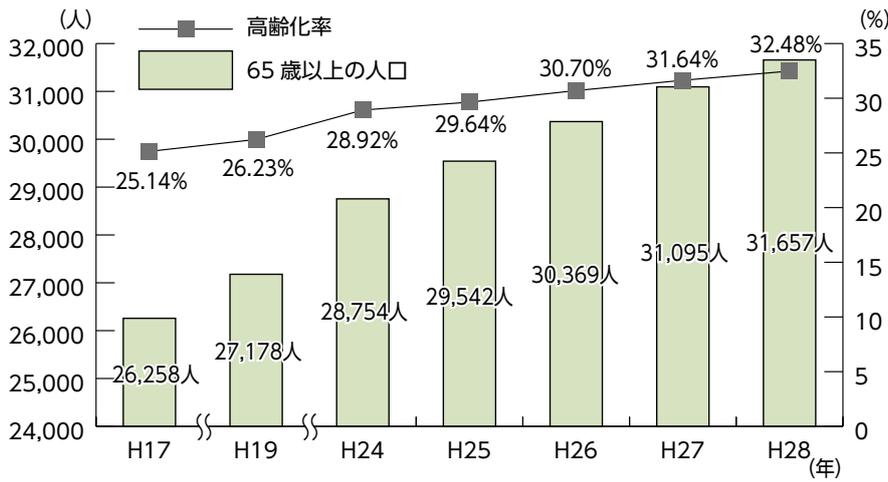
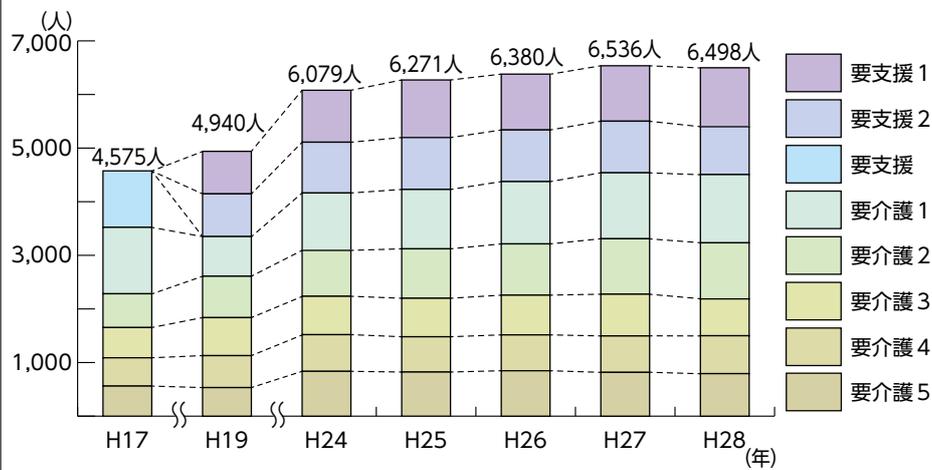


表2 市の要介護・要支援認定者数の推移

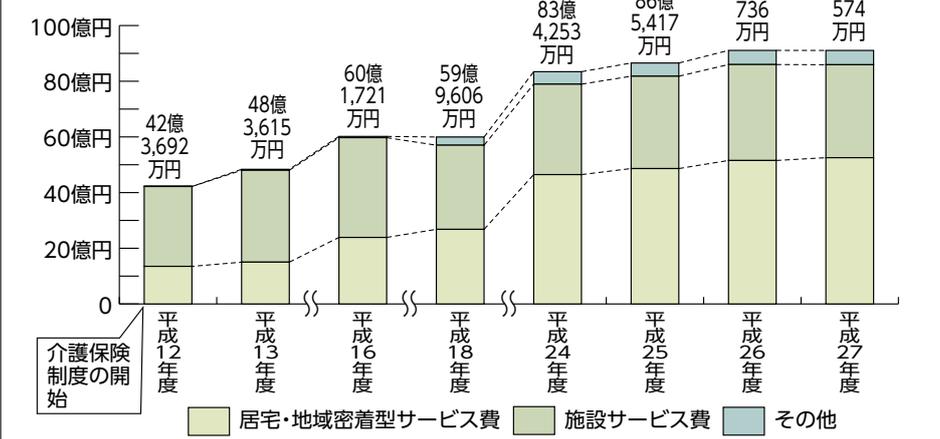


65歳以上の人口と要介護認定者数の推移

市の65歳以上の人口は平成28年3月末現在、31,657人です。高齢化率(全人口に占める65歳以上の人の割合)は32.48%で、市民の約3人に1人が65歳以上となっています。(表1)

また、要介護・要支援認定者数は6,498人です。(表2)

介護保険給付費の推移



介護保険給付費の推移

平成27年度の介護保険給付費は、介護保険制度が始まった平成12年度に比べ、約2倍に増加しています。特に、自宅で介護サービス受けられる居宅・地域密着型サービス費は約4倍に増えています。

平成27年度の介護保険給付費は、介護保険制度が始まった平成12年度に比べ、約2倍に増加しています。特に、自宅で介護サービス受けられる居宅・地域密着型サービス費は約4倍に増えています。



介護保険だより

介護保険サービスの利用には 要介護(要支援)認定が必要です

要介護(要支援)認定とは、被保険者の心身の状況などを踏まえ、要介護度とその有効期間を認定するものです。

●申請からサービス利用までの手順

①要介護(要支援)認定の申請
市役所または各支所で認定申請をします。申請時に、介護保険証と主治医意見書(持っている場合)を提出します。
申請は居宅介護支援事業所や高齢者相談センターなどに代行

してもらうことができます。

②訪問調査

調査員が自宅や施設、病院を訪問し、本人や家族から聞き取り調査を行います。

③審査・判定

訪問調査の結果や主治医意見書を基に、介護認定審査会で要介護度と有効期間を認定します。

④認定結果の通知

原則として申請から30日以内に認定結果が通知されます。

⑤サービスの選択

要支援1・2の人は、介護予防サービスが利用できます。

要介護1・5の人は、居宅サービスまたは施設サービスが利用できます。

⑥ケアプランの作成依頼

ケアマネジャーなどに本人の希望や状態に応じた「介護(介護予防)サービス計画(ケアプラン)」の作成を依頼します。

⑦サービスの利用

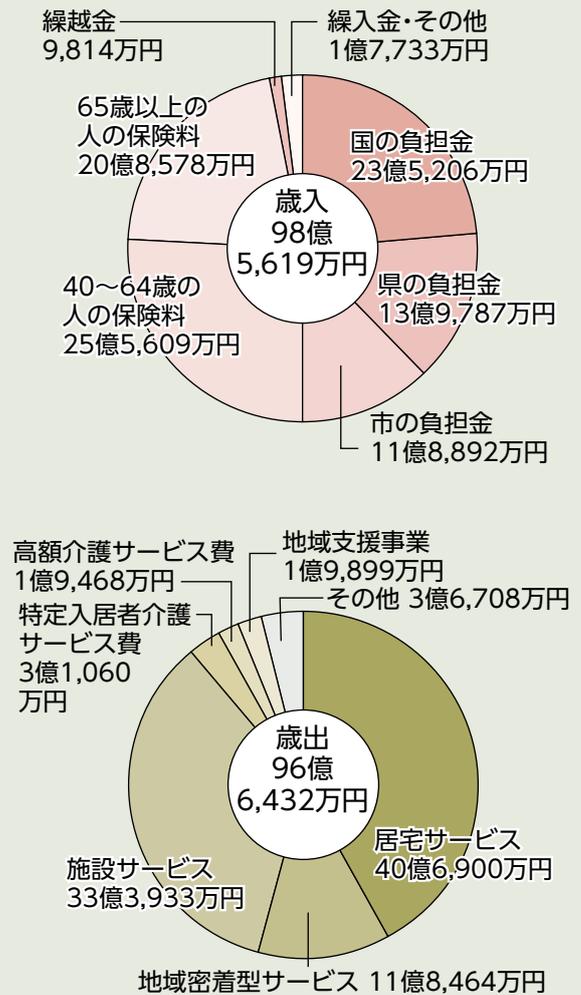
サービス提供事業者と契約を結び、ケアプランに基づいてサービスを利用します。

原則として費用の1割または

平成27年度の決算状況

平成27年度に介護サービスを利用した人は延べ64,965人で、介護給付費は歳出決算額の約90%を占めています。

歳出のうち「その他」の3億6,708万円には、要介護認定にかかる費用などを含む総務費1億6,708万円のほか、審査支払い手数料750万円が含まれます。



※平成27年度三原市介護保険特別会計決算書による。

高齢者福祉課

0848-676240

2割を利用者が負担します。

⑧更新の申請

引き続きサービスを利用する場合は、有効期間が終了する前に更新申請をします。有効期間が終了する60日前から申請できます。

※認定期間中に、心身の状況が改善または悪化し、必要とする介護サービスが変化したときは、変更申請ができます(区分変更申請)。



12月3日(土)～9日(金) は障害者週間

障害のある人もない人も支え合う共生社会の実現に向け、障害者週間の期間中に啓発行事を実施します。

●街頭キャンペーン

とき 3日(土)10時～11時

ところ イオン三原店、フジグラン三原、マックスバリュ本郷店、ニチエー中之町店

内容 障害のある人たちと、福祉事業所の製品が入った啓発リーフレットを配布

●アートイベント

とき 3日(土)～11日(日)10時～16時

※7日(水)は実施しません。

ところ 芸術文化センター ポポロ ホワイエ

内容 障害のある人による絵画などの展示

●障害者週間講演会

とき 11日(日)13時～15時

ところ 芸術文化センター ポポロ リハーサル室

演題 みんな幸せになろうや!!～「障害」のある

人もない人もその人らしく

生きる社会へ～

講師 NHK Eテレ「バリ

バラ」レギュラー 玉木

幸則さん

▲玉木幸則さん



▲玉木幸則さん

☎社会福祉課 ☎0848・67・6060 ☎0848・64・2130

第5回がんフォーラム

とき 17日(土)13時～15時30分

※開場は12時から。

ところ リージョンプラザ 文化ホール

内容

①スペシャルトークショー「自己実現のための健康づくり」

出演 広島東洋カープアドバイザー 前田智徳さん、広島ホームテレビスポーツ部ディレクター 土屋誠さん



▲前田智徳さん

②基調講演「がんと共に～自分らしく生きる～」
講師 がん体験者の会とま～れ 佐々木 佐久子さん

③シンポジウム「『自分らしく生きる』を支える～三原での取り組み」

内容 医師と看護師、緩和ケアコーディネーター、保健師による事例発表や意見交換

④がんに関連した体験・展示コーナー

※行事終了後、「やささだるマン健康スタンプラリー」の抽選会を実施します。

定員 400人(申し込み先着順)

申し込み先 保健福祉課(☎0848・67・6053)

平成29年度固定資産税

償却資産の申告を忘れずに!

土地・家屋以外の事業用資産(償却資産)は、申告が義務付けられています。申告の漏れや誤りのないよう確認してください。今月中に申告書が届かないときは連絡してください。

申告期間 来年1月4日(水)～1月31日(火)

提出先 資産税課、各支所地域振興課

対象となる償却資産

・法人税や所得税の損金、または必要経費に算入される減価償却資産(法人税や所得税が課税されない個人、法人が所有するものを含む)

・減価償却済みの資産

・テナント入居者などが事業用として取り付けた内装や設備

※無形償却資産や自動車税、軽自動車税の課税対象を除く。

☎資産税課(市役所本庁2階) ☎0848・67・6039

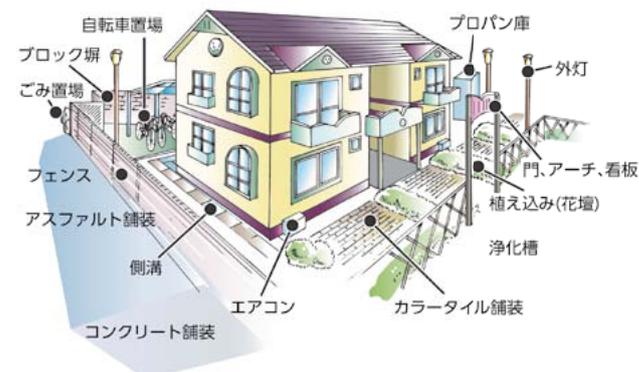
●償却資産の实地調査を行なっています

申告の漏れや誤りを防ぐため、市内の全事業者を対象に实地調査を行なっています。資産台帳などの提出や現物照合調査などをお願いすることがあります。

※申告に漏れや誤りがあった場合、修正申告や税額更正を過年度に遡及することとなります。

※虚偽の申告や不申告、調査拒否には、罰則が設けられています。

【例】アパート経営の主な償却資産



人権講演会を開催します

- ①三原会場:三原市人権文化センター
- ②本郷会場:本郷人権文化センター

入場料無料

とき ①9日(金)19時~20時
30分②20日(火)13時~15時

※②は講演前にオカリナ教室受講生の皆さんによる演奏があります。

演題 市民の人権と登録型本人通知制度

講師 NPO法人ゆにばーさる 理事 山下真澄さん

定員 ①100人②50人

※いずれも先着順。希望者は直接、会場へ。

①三原市人権文化センター(☎0848・66・1111)

②本郷人権文化センター(☎0848・86・3333)



▲山下真澄さん

大和会場:大和人権文化センター

とき 10日(土)13時30分~15時

演題 世界人権宣言の精神と日本の人権状況

講師 部落解放同盟広島県連合会副委員長 岡田英治さん

定員 50人(先着順)

※希望者は直接、会場へ。

①大和人権文化センター(☎08

47・33・1308)



▲岡田英治さん

にっぽん丸船内見学会



とき 来年1月6日(金)10時30分~11時30分
※寄港は9時~17時。岸壁からの見学は自由。

ところ 糸崎岸壁(糸崎南二丁目)

対象 市内在住の人

定員 50人(多数の場合は抽選)

参加費無料
要申し込み

申し込み 12月9日(金)(必着)までに、往復はがきで参加希望者(4人まで)全員の①住所②名前③年齢④電話番号を港湾課(〒723-0015円一町二丁目3番4号☎0848・67・6108)へ

※詳しくは市ホームページで確認してください。

第9回観光写真コンテスト ~三原の四季と城下町~

テーマ 三原市を題材としたもの。四季折々の風景、イベント、情緒あふれる城下町や豊かな田園風景など

受付期間 来年1月4日(水)~27日(金)
(消印有効)

応募規定 ①本人が今年1月以降に市内で撮影した未発表の単写真

②サイズはA4または4切。合成したものは不可

③応募は1人3点まで

④入賞・入選作品はフィルム、デジタルデータの提出が必要

※詳しくは応募票・市ホームページで確認できます。

賞 大賞(1点)30万円、金賞(1点)15万円、銀賞(2点)5万円など

申し込み 持参または郵送で、裏面に応募票(観光課・市ホームページに用意)を貼付した写真を観光課(市役所本庁5階〒723-8601港町三丁目5番1号☎0848・67・6014)へ



▲前回の受賞作品
「春花火」(西垣正明さん)

あんず認定こども園が開園



来年4月にあんず認定こども園(幸崎能地七丁目)が開園します。

入園希望については、短時間利用(幼稚園機能)はあんず認定こども園(☎0848・69・1641)へ、長時間利用(保育所機能)は子育て支援課(☎0848・67・6042)または各支所地域振興課へ申し込んでください。



非常勤職員を募集

任用期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日
 受付期間 平成28年12月1日(木)～平成28年12月14日(水)

対 象 応募資格を満たす人(年齢・学歴は不問)
 選考方法 書類審査・適性検査・面接
 用意する物 申込書、応募資格を証明するものの写し
 ※応募資格など、詳しくは募集要項で確認してください。
 ※募集要項・申込書は各課・市ホームページで取得できます。

職 種	報酬(月額)	勤務日・時間	主な業務内容 ※★は自動車の運転を伴う。	応募資格 ※来年3月末の取得見込みも含む。	定 員	申し込み・ 問い合わせ先
警備嘱託員	8,520円	週平均3日程度、 1日7時間45分	時間外の来庁者への対応、出入者の監視、電話・郵便物の受け付け	市役所本庁または本郷・久井支所での日直・宿直ができる人	5人程度	総務広報課 ☎0848・67・6022
事務嘱託員	6,640円	週5日、1日5時間50分	窓口業務・データ処理・書類整理	パソコン操作(ワード・エクセルなど)ができる人	7人程度	職員課 ☎0848・67・6025
登記嘱託員	6,640円	週5日、1日5時間50分	公有財産の不動産登記など	不動産登記の知識・経験・技能のある人	1人	管財課 ☎0848・67・6012
保健指導員	9,920円	週4日、1日6時間45分	保健福祉に関する指導・相談	保健師または看護師の資格を持っている人	3人	保健福祉課 ☎0848・67・6061
家庭児童相談員	6,640円	週5日、1日5時間50分	子育て支援に関する相談・指導	養護教諭、保育士などの免許・資格を持ち、子どもに関わる職務の経験と業務に必要な識見のある人	1人	
栄養指導員	8,300円	週4日、1日6時間45分	保健福祉に関する栄養指導・相談	管理栄養士または栄養士の資格を持っている人	3人	
発達支援相談員	9,380円	週4日、1日6時間45分	子どもの発達に関する支援・相談	言語聴覚士または作業療法士の資格を持っている人	1人	社会福祉課 ☎0848・67・6060
障害支援区分認定調査嘱託員	8,570円	週5日、1日5時間50分	障害福祉サービス申請者への訪問調査★	介護支援専門員、保健師、看護師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、社会福祉主事任用資格、介護福祉士、ヘルパー1級などの資格を持っている人	1人	
介護認定調査嘱託員	8,570円	週5日、1日5時間50分	要介護認定申請者への訪問調査★	介護支援専門員、保健師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、社会福祉主事任用資格、介護福祉士、ヘルパー1級などの資格を持っている人	5人	高齢者福祉課 ☎0848・67・6240 0848・67・6055
保健指導員	9,920円	週4日、6時間45分	高齢者の保健福祉に関する指導・相談★	保健師または看護師の資格を持っている人	1人	保険医療課 ☎0848・67・6056
看護師嘱託員	8,570円	週5日、1日5時間50分	大和診療所での看護師業務	看護師または准看護師の資格を持っている人	1人	
児童クラブ指導員	5,500円	週6日、1日4時間50分	小学生の遊びや生活の指導	①保育士などの資格、各種教諭免許を持っている人②大学で教育学などを専修する学科を卒業した人③高卒以上で類似業務の経験が2年以上ある人	17人	子育て支援課 ☎0848・67・6045
児童館嘱託員	6,640円	週5日、1日5時間50分 ※土・日曜日勤務あり。	児童館行事の企画・運営、子どもの遊びや生活の指導	保育士資格や各種教員免許を持っている人、または児童福祉分野の業務経験が2年以上ある人	2人	
母子・父子自立相談員	6,640円	週5日、1日5時間50分	児童扶養手当受給者への面接、母子・父子家庭などの自立支援	業務に必要な識見のある人	1人	人権推進課 ☎0848・67・6044
人権相談員	7,930円	週5日、1日5時間50分	人権問題に関する相談・指導・助言、人権文化センターの業務補助	人権問題に深い認識と理解がある人、または人権啓発に関わる指導・相談経験が3年以上ある人	1人	
人権啓発指導員	10,540円	週3日、1日7時間45分	研修会・講座などでの指導、啓発教材の作成、人権問題の指導と相談	教員免許を持っている人、または人権啓発に関わる指導・相談経験が3年以上ある人	1人	商工振興課 ☎0848・67・6072
消費生活相談員	9,180円	週4日、1日6時間45分	消費生活の啓発と相談	消費生活相談員の資格を持っている人、または同等の識見を持っている人	1人	
営農指導嘱託員	9,210円	週5日、1日5時間50分	農業振興と農産物の生産指導★	業務について必要な識見がある人	1人程度	農林水産課 ☎0848・67・6077
幼稚園園長嘱託員	7,930円	週5日、1日5時間50分	幼稚園児の教育、施設の維持・管理、職員の指導・監督	教員免許(養護・栄養教諭を除く)を持っている人	1人	教育振興課 ☎0848・67・6151
学習支援員	10,540円	週3日、1日7時間45分	通常学級での発達障害のある児童・生徒の学習支援	小学校または中学校の教員免許を持っている人	1人	学校教育課 ☎0848・67・6155
特別支援介助員	時間単価 1,140円	週3～5日、 1日6時間～ 7時間45分	障害のある幼児・児童・生徒の日常生活の介助・安全確保	障害者の介助や支援などの経験がある人	13人程度	
図書館司書	9,180円	週4日、1日6時間45分	学校図書館の整備と読書支援	図書館司書の資格を持っている人	5人程度	生涯学習課 (中央公民館内) ☎0848・64・2137
青少年指導相談員	10,540円	週3日、1日7時間45分 ※土曜日勤務あり。	青少年問題に関する相談・指導	小学校または中学校の教員免許(養護・栄養教諭を除く)を持っている人	2人	
生涯学習相談員	7,930円 10,540円	週5日、1日5時間50分 週3日、1日7時間45分	生涯学習の推進・相談	社会・学校教育の指導経験がある人、または生涯学習について識見がある人	20人程度	生涯学習課 (中央図書館内) ☎0848・62・3225
図書館司書	9,180円	週4日、1日6時間45分 ※土・日曜日勤務あり。	中央・本郷・久井・大和図書館での図書館業務	図書館司書の資格を持っている人	4人	
学芸員	7,930円 10,540円	週5日、1日5時間50分 週3日、1日7時間45分	三原市・久井歴史民俗資料館での文化財調査など	学芸員の資格を持ち、大学で歴史・民俗学を専修した人	2人	文化課 ☎0848・64・9234

保育所(園)・認定こども園の入所(園)を受け付けます

受付期間 1日(木)～22日(木)

対象 次の要件を満たす人

認可保育所(園)・地域型保育事業

- ①市内在住で、来年4月から新しく入所を希望する人
- ②仕事や介護などで家庭保育が困難な人

認定こども園

- 長時間利用(保育所機能)
 - ①市内在住で、来年4月から新しく入所を希望する人
 - ②仕事や介護などで家庭保育が困難な人

●短時間利用(幼稚園機能)

- ①市内在住で、来年4月から新しく入所を希望する人

※私立認定こども園(短時間利用)への入園は各園に直接、申し込んでください。

申し込み 申込書(提出先、各保育所・こども園に用意)を子育て支援課または各支所地域振興課へ

子育て支援課(市役所本庁2階)

☎0848・67・6042

保育所(園)	ところ	定員	保育時間	延長保育	対象		
公立	円一保育所	円一町二丁目7番3号	180人	7:30～18:00	なし	6カ月以上	
	糸崎保育所	糸崎三丁目5番1号	45人				
	幸崎保育所	幸崎能地三丁目14番1号	45人				
	中之町保育所	中之町一丁目4番12号	70人				
	高坂保育所	高坂町真良2153番地	30人				
	長谷保育所	長谷一丁目5番21号	60人	7:00～18:00	19:00まで	6カ月以上	
	宗郷保育所	宗郷四丁目8番19号	70人				
	本郷保育所	本郷南五丁目8番1号	100人				
	本郷ひまわり保育所	下北方一丁目8番1号	120人				
	久井認定こども園	久井町坂井原3024番地	長時間利用	90人	7:30～18:00	19:00まで	6カ月以上
短時間利用			50人	8:30～14:00	なし	3歳以上	
大和認定こども園		大和町下徳良697番地2	長時間利用	135人	7:30～18:00	19:00まで	6カ月以上
			短時間利用	50人	8:30～14:00	なし	3歳以上
私立	聖心保育園	東町三丁目13番6号	120人	7:00～18:00	19:00まで	4カ月以上	
	認定けいこうこども園	本町三丁目26番1号	長時間利用	90人	7:00～18:00	19:30まで	3カ月以上
			短時間利用	15人	8:30～14:30	なし	3歳以上
	愛光園保育所	館町二丁目2番12号	90人	7:00～18:00	19:30まで	3カ月以上	
	紅梅認定こども園	西野三丁目8番18号	長時間利用	150人	7:00～18:00	19:00まで	生後8週以上
			短時間利用	10人	8:30～14:00	なし	3歳以上
	さくら認定こども園	宮浦六丁目21番12号	長時間利用	100人	7:00～18:00	19:00まで	生後9週以上
			短時間利用	15人	8:30～14:00	なし	3歳以上
	あさかげ保育園	沼田東町片島249番地3	80人	7:00～18:00	19:30まで	生後9週以上	
	さんさんみなと保育園	港町一丁目6番6号コウサキビル2階	64人	7:00～18:00	20:00まで	4カ月以上	
	認定あやめが丘こども園	沼田西町惣定66番地308	長時間利用	80人	7:00～18:00	19:00まで	3カ月以上
			短時間利用	10人	8:30～14:30	なし	3歳以上
	さんさんまりん保育園	港町三丁目6番29号サンライズマリン瀬戸1・2階	80人	7:00～18:00	20:00まで	4カ月以上	
愛育認定こども園	本郷南三丁目4番7号	長時間利用	90人	7:00～18:00	19:00まで	3カ月以上	
		短時間利用	20人	8:30～14:00	なし	3歳以上	
あんず認定こども園	幸崎能地七丁目2210番地1	長時間利用	40人	7:00～18:00	19:30まで	生後57日以上	
		短時間利用	5人	8:30～14:00	なし	3歳以上	
地域型保育	子どもサロンドレミ園	皆実1丁目21番15号	19人	7:30～18:00	19:00まで	生後60日～満3歳未満	
	りんくう保育園	本郷町善入寺字用倉山10064番190	12人	7:00～18:00	なし	生後57日～満3歳未満	

芸術文化センター ポポロ

モダンタンゴ五重奏団

全席自由
入場券販売中

10日(土)15時～

結成20年を迎えたモダンタンゴ五重奏団。ピアソラ作品を中心に、モダンタンゴの世界をお楽しみください。

出演 北村 聡(バンドネオン)、渋谷 次(ピアノ)、徳武正和(ギター)、徳原正法(コントラバス)、鄭 英徳(ヴァイオリン)、田中拓平・田中三貴(タンゴ舞踊)

予定曲 リベルタンゴ、アディオス・ノニーノ、トリンファル ほか

入場料 1,000円

販売場所 ポポロ、ポポロオンライン



ウィーン・サロン・オーケストラ ニューイヤーコンサート2017

全席指定
入場券販売中

来年1月9日(月・祝)15時～

音楽の都ウィーンから名門オーケストラが来日し、優雅な響きで新年を彩ります。ソプラノ、バリトン歌手とバレエダンサーも加わる華やかなステージです。

予定曲 皇帝円舞曲、美しく青きドナウ、ラデツキー行進曲 ほか

入場料 S席6,500円、A席5,000円、B席3,000円

販売場所 ポポロ、ポポロオンライン ほか



☎芸術文化センター ポポロ(☎0848・81・0886)

第18回みはら市民音楽祭

3日(土)10時30分～15時30分(合唱・吹奏楽など)
4日(日)10時～15時50分(合奏・邦楽など)

ところ 芸術文化センター ポポロ ホール

内容 市民音楽団体による合唱・吹

入場料無料

奏楽・邦楽・合奏などの発表

☎文化課(☎0848・64・9234)



新成人のつどい(成人式)

来年1月8日(日)14時～16時

ところ 芸術文化センター ポポロ

内容 第1部:成人式典、第2部:新成人を祝う会

対象 平成8年4月2日～平成9年4月1日生まれの人



※市内に住民登録している人には案内状を郵送します。今月中旬になっても届かないときは連絡してください。※就学や就職などで市外に住民登録し、出席を希望する人は、電話または電子申請(市ホームページ)で申し込んでください。

※介助が必要な人は事前に連絡してください。

☎生涯学習課(☎0848・64・2137)

宇根山天文台 クリスマス観望会&ハープ演奏会

17日(土)18時～22時※演奏会は19時から。

内容 オリオン座大星雲などの冬の星座の観望、ハープ演奏の鑑賞

入館料 310円、中高生210円、小学生100円、小学生未満無料

☎生涯学習課(☎0848・64・2137)、宇根山天文台(開館日のみ☎0847・32・7145)



三原駅前市民広場のイベント

3日(土)・4日(日)9時～^{こっとう}骨董市&フリーマーケット

出店者の募集 **出店料** 1区画につき1,000円/日
申し込み 商工会議所へ

10日(土)8時～11時 軽トラ朝市

内容 業者が生産・加工した農水産物の販売

出店者の募集 **定員** 50店(申し込み先着順)
出店料 無料
申し込み 商工会議所へ

☎商工会議所(☎0848・62・6155)

11日(日)10時～16時 ハンドメイドマーケット vol.10

内容 人気ハンドメイド作家による作品の展示・販売
☎ハンドメイドマーケット実行委員会(カフェ3グラム内☎0848・67・4489)

18日(日)9時30分～16時 城町西部商栄会もちつき大会

内容 餅、ぜんざい、おでんの販売

☎城町西部商栄会(☎080・1904・1137)

リージョンプラザ

映画のつどい

12月14日(水)

①10時30分～②14時～③18時30分～

超高速！参勤交代 リターンズ 特別劇場



入場料 1,800(1,500)円、大学生1,500(1,300)円、3歳～高校生1,000(800)円、60歳以上1,100円、どちらかが50歳以上の夫婦2人で2,200円

※()内は割引券利用の料金。
※障害者手帳を提示した人は1,000円。
※年齢などを証明できる物を提示してください。

割引券設置場所 リージョンプラザ、ポポロ、中央図書館、中央公民館、各文化センター、うきしろロビー、フジグラン三原 ほか

第10回もちつき体験大会

11日(日)10時～15時

ところ 屋外広場

●もちつき体験

定員 150人(申し込み先着順)

参加費 200円

●ポン菓子の実演販売

用意する物 米5合、砂糖400グラム

参加費 700円(加工代)



●屋台・ゲームコーナー

内容 ぜんざいやワッフルなどの販売、射的などの有料ゲーム

●きて！みて！つくって！体験

ところ 展示ホール

参加費 100円

※もちつき体験の参加者は1作品無料。

～風土としての現代美術～ CONVERTER展

入場料無料

3日(土)～7日(水)10時～18時

表現活動の一環として、共鳴する2人が現代美術ユニットを組んで作品を発表。絵画と写真という異なるジャンルの作品が融合した新鮮な表現空間を体験できます。

ところ 展示ホール

内容 佐々木 高信さん(絵画)と平田博康さん(写真)の作品展示



▲作品 ミクストメディア
2016/佐々木高信



▲空中庭園(2016年)/平田博康

☎リージョンプラザ(☎0848・64・7555)

第2回佐木島エコマラソン&ランフェスタ

23日(金・祝)～25日(日)

ところ 佐木島・小佐木島(鷺浦町)

申し込み 11日(日)までにスポーツエントリー(<https://www.sportsentry.ne.jp/entry/t/67060/s>)から

●ランニング教室(23日14時～)

講師 1500m元日本代表 小西雅子さん

参加費 5,000円(宿泊料・夕食代を含む)

●フル&クォーターマラソン(24日10時30分～)

対象 高校生以上

定員 700人(申し込み先着順)

参加費 フル:5,500円、クォーター:3,500円

※保険料・昼食代・参加賞を含む。



●小佐木島リレーマラソン&親子ラン(25日9時30分～)

内容 ①3人のリレーで2時間走って距離を競う②親子で全長2kmのコースを走る

定員 ①15チーム②20組(申し込み先着順)

参加費 ①8,000円②2,500円

☎佐木島エコマラソン大会事務局(☎048・473・0898)

生活情報 掲示板

**1日(木)～10日(土)
年末交通事故防止
県民総ぐるみ運動**

子どもと高齢者を巻き込む事故が多発しています。思いやりのある運転で事故を防ぎましょう。
問い合わせ先 生活環境課 ☎0848・67・6178

家計調査にご協力を

国民生活における家計収支の実態把握のため、収入・支出、貯蓄・負債などを6カ月(単身世帯は3カ月)間調査します。

対象 皆実四～六丁目、中之町一～三丁目の無作為に選ばれた世帯

調査方法 顔写真付きの調査員証を携帯した調査員が調査票を配付・回収します

問い合わせ先 県総務局統計課 ☎088・2513・2534

水道管の凍結を防ぐために

寒い地域では、水道管や蛇口を保温するようにしましょう。もし、破裂した場合は、止水栓を閉め、指定工事業者に修理を依頼してください。



問い合わせ先 水道部工務配水課 ☎0848・64・2294

道路にはみ出した木は伐採を

私有地の樹木などが道路にはみ出すと、通行の妨げや事故の原因となります。倒木や枝の落下を防ぐため、伐採をお願いします。

問い合わせ先 土木管理課 ☎0848・67・6092

軽自動車税減免の継続

現在、軽自動車税の減免を受けている人に、今月中旬に継続申請書を送付します。来年度も引き続き減免を受ける場合は申請してください。

申請方法 来年1月13日(金)までに持参または郵送で申請書を市民税課 ☎0848・67・6030、各支所へ

衣類などの洗濯表示が変わります

今月から、国内外の洗濯表示が統一され、記号が変わります。詳しくは消費者庁のホームページで確認してください。

問い合わせ先 商工振興課 ☎0848・67・6072

高齢障害者の控除認定

身体障害者手帳などを持っていない人でも、身体・知的障害の程度が認定基準に準じていれば、所得税や住民税の控除を受けることができます。

対象 精神や身体に障害のある65歳以上の人

※診断書または民生委員の意見書が必要な場合があります。
申し込み先 社会福祉課 ☎0848・67・6060

15日(木)～31日(土) 年末火災予防運動

年末を無火災で過ごし、明るい新年を迎えるため、火の取り扱いには十分注意してください。

住宅には火災警報器の設置が義務付けられています。



取り付けが困難な人は問い合わせてください。

問い合わせ先 消防本部予防課 ☎0848・64・5927

コミュニティ助成事業が完了

宝くじの収益金を財源とし、一般財団法人自治総合センターが地域のコミュニティ活動を助成しています。今年度は総額470万円の助成金を活用し、深町連合町内会と高坂町内会に備品を整備しました。



問い合わせ先 地域調整課 ☎0848・67・6184

国の教育ローンを ご利用ください

対象 高校・大学などへの入学または在学にかかる費用

融資金額 子ども1人につき350万円以内

返済期間 15年以内

※金利など詳しくは問い合わせください。
問い合わせ先 日本政策金融公庫尾道支店 ☎0848・22・6111

「みはら幸福さんぽ〜アツ
プロード〜」を放映中

放送日時 月曜日21時54分〜22時
※26日は休止。
放送局 テレビ新広島(TSS)
問い合わせ先 観光課(☎08
48・67・6015)

献血にご協力を

とき ①23日(金)10時〜12時、
13時〜16時②25日(日)10時〜11
時30分、12時30分〜15時30分
ところ ①ランド



マーク三原(城
町三丁目)②マ
ックスバリュ本郷店
問い合わせ先 保健福祉課(☎
0848・67・6053)

催し

市民ギャラリーの催し

●第20回朝日写真サロン・中国
巡回展

とき 4日(日)〜10日(土)10時
〜18時(4日は12時から、10
日は15時まで)

●三原やっさ踊り振興協議会
公開練習

とき 13日(火)18時30分〜
●直美の部屋〜クリスマスコン

サート

とき 16日(金)14時〜
問い合わせ先 文化課(☎08
48・64・9234)

セカンドライフ
応援セミナー

とき 10日(土)14時〜16時30分
ところ 城町庁舎2階 大会議室
演題 充実・活躍!セカンドラ
イフ



講師 シニア
ライフアド
バイザー
松本すみ子さん
定員 60人(申し込み先着順)
申し込み 7日(水)までに経営
企画課(☎0848・67・62
70)へ

産学官交流セミナー

とき 14日(水)15時〜16時30分
ところ 城町庁舎2階 大会議室
演題 やってきた産学官連携事
業の紹介〜私を〜活用くださ
い〜

講師 県立広島大学名誉教授
大塚彰さん
定員 40人(申し込み先着順)
申し込み 9日(金)までに商工
会議所(☎0848・62・61
55)へ

防災講演会

とき 11日(日)10時〜12時30分
ところ 本郷生涯学習センター
演題 災害から生命と暮らしを
守るヒント



講師 NPO
法人さくら
ネット代表
理事 石井布紀子さん
定員 100人(申し込み先着順)
申し込み 7日(水)までに危機
管理課(☎0848・67・61
97)へ

共同募金イベント

●歳末助け合いお茶会
とき 11日(日)10時〜15時
ところ 市民ギャラリー
参加費 1,000円

●第12回チャリティーバザー

とき 11日(日)10時〜14時
ところ イオン三原店
問い合わせ先 三原市共同募金
委員会(☎0848・63・05
70)

三原だるまを作ろう

とき 26・29日を除く月・木曜日
13時〜16時、24・31日を除く
土曜日10時〜12時
ところ 三原だるま工房(港町

一丁目)
内容 土台作り、
面相描き
参加費 600円
申し込み先 三原
観光協会(☎0848・67・5
877)



城下町を歩こう

とき 10日(土)・24日(土)10時
30分〜12時
ところ 集合:うきしろロビー
内容 隆景広場、三原城天主台
などを巡る

※希望者は直接、集合場所へ。
参加費 無料
問い合わせ先 三原観光協会
(☎0848・67・5877)

男性の料理教室

とき 15日(木)10時〜13時
ところ サン・シープラザ3階
対象 65歳以上
で1人暮らし
の男性、男性
介護者



定員 30人(申し込み先着順)
参加費 250円
用意する物 エプロン、三角巾
申し込み 8日(木)までに社会
福祉協議会(☎0848・63・
0570)へ

南方元気フェスティバル

とき 11日(日)10時～15時

ところ 南方コミュニティセンター

内容 スポーツゲーム、羽子板作り、ジャズコンサート(13時30分～)など

問い合わせ先 本郷支所地域振興課(☎0848・861111)

福山市子ども発達支援センター開設4周年記念講演会

とき 10日(土)14時～16時

ところ 福山すこやかセンター(福山市三吉町)

演題 こどもの発達のおもしろい子育てと教育のヒント

講師 福山市立大 学教育学部教授 眞田敏さん



定員 180人(先着順)

問い合わせ先 福山市子ども発達支援センター(☎0848・9281351)

第19回市民ミュージカル「ももたろうの仲間とおとぎ話からたかかげへ」

とき 18日(日)13時～

ところ 芸術文化センターポポロ

入場料 2,200円(1,700円)

0円)、高校生以下1,000円(800円)

※()内は前売り料金。

販売場所 中央公民館、各文化センター、ポポロ、うきしろロビー

問い合わせ先 市民ミュージカル実行委員会事務局(☎0848・670369)

募集

新規就農者育成研修

研修期間 来年4月～平成30年3月

対象 市内在住でワケギの出荷をめざす18～44歳の人

定員 2人(選考により決定) ※詳しくは市ホームページで確認してください。

申し込み 22日(木)までに申請書提出先、市ホームページに用意)を農林水産課(☎0848・676077)へ

縁結びサポーター養成講座

とき 来年1月21日(土)・2月18日(土)・3月18日(土)(全3回)

※いずれも13時30分～15時30分。

ところ 本郷生涯学習センター 内容 結婚に関する相談や助言の方法を学ぶ

定員 20人(申し込み先着順) 申し込み 来年1月12日(木)までに子育て支援課(☎0848・676045)へ

三原市認定生活支援員養成講座

とき 来年1月17日(火)・24日(火)・31日(火)(全3回)

※いずれも9時30分～15時30分。

ところ 中央公民館

内容 高齢者の食事・介護予防や支援員の役割を学ぶ ※福祉施設での実習もあります。詳しくは問い合わせてください。

対象 受講後に生活支援員として活動できる人

定員 20人(申し込み先着順)

申し込み先 高齢者福祉課(☎0848・676055)

警備嘱託員(非常勤)

任用期間 来年1月4日～3月末

勤務場所 市役所本庁

対象 来年1月4日現在、65歳未満の人

定員 1人

報酬(月額) 8,520円

勤務日・時間 週平均3日程度、1日7時間45分

業務内容 時間外の来庁者の対応、出入者の監視など

申し込み 12月15日(木)までに、

履歴書を総務広報課(☎0848・676022)へ

石油販売業用地の一般競争入札

所在地 幸崎能地四丁目

申込期間 14日(水)～16日(金)

※詳しくは入札案内書(農林水産課、市ホームページに用意)で確認してください。

問い合わせ先 農林水産課(☎0848・676077)

消防設備士試験

とき ①来年2月12日(日)②2月19日(日)

ところ ①福山市②広島市

申請期間 電子申請 12月3日(土)～12日(月)、書面申請 12月6日(火)～15日(木)

※願書は消防署、各分署で配布。

問い合わせ先 消防本部予防課(☎0848・645927)

自衛官候補生

対象 来年4月1日現在、18～26歳の人

応募期限 15日(木)まで

※試験日など詳しくは自衛隊のホームページで確認してください。

問い合わせ先 自衛隊尾道出張所(☎0848・226942)

生涯学習講座

各講座とも申し込み先着順です。受け付けは1日(木)10時からです。

講座名	とき	対象	定員	参加費	申込期限	ところ・申し込み先
迎春用つるし飾り ～七宝手まりを作ろう～	7日(水) 13時～16時30分	大人	15人	1,300円	5日(月) まで	船木コミュニティセンター (☎0848・86・6731)
楽しく歌おう クリスマスソング	7日(水) 13時30分～15時30分		30人	100円	5日(月) まで	南方コミュニティセンター (☎0848・86・4858)
パネトーネと クリスマス料理	8日(木)10時～13時		20人	1,100円	7日(水) まで	中央公民館 (☎0848・64・2137)
炊飯器でパエリア料理	13日(火)9時～12時		12人	1,500円	6日(火) まで	大和文化センター (☎0847・33・1115) ※会場は神田公民館。
笑顔の筋トレ・脳トレ体操	14日(水) 13時30分～15時		20人	100円	9日(金) まで	沼田東コミュニティセンター (☎0848・66・3179)
年越しそば手打ち教室	15日(木) 9時30分～12時		12人	700円	12日(月) まで	南方コミュニティセンター (☎0848・86・4858)
クラフトテープで お花入れ作り	15日(木)9時～12時		15人	500円	13日(火) まで	中之町コミュニティセンター (☎0848・64・4099)
家族のための終活セミナー	16日(金) 14時～15時30分		20人	100円	14日(水) まで	宮浦コミュニティセンター (☎0848・62・7944)
スッキリらくらく 整理収納講座	22日(木) 13時30分～15時30分		15人	100円	16日(金) まで	久井公民館 (☎0847・32・7139)
フラワーアレンジメント 「お正月」教室	23日(金) 13時30分～15時30分		20人	2,600円	13日(火) まで	久井南コミュニティセンター (☎0847・32・6316)
お正月を飾るしめ飾り作り	23日(金) 13時30分～15時	20人	300円	16日(金) まで	須波コミュニティセンター (☎0848・67・0512)	

図書館アラカルト

休館日 中央図書館＝23日(金)、28日(水)～1月4日(水)
本郷・久井・大和図書館＝23日(金)、28日(水)～1月4日(水)、火曜日

●クリスマスの本展

とき 10日(土)～25日(日)
ところ 中央・本郷・久井・大和図書館
内容 クリスマスにちなんだ図書の展示・貸出

中央図書館(☎0848・62・3225)

●ねむの木 おはなしのひろば

とき 3日(土)・17日(土) 10時30分～11時30分

●虹の会 絵本のよみかたり

とき 10日(土)14時～14時30分、17日(土)
14時～15時

※17日は手話通訳があります。

●虹の会 0歳からのよみかたり

とき 16日(金)10時30分～11時、11時15分～
11時45分

●ぽけっといっぱいのおはなし会

とき 1日(木)11時～11時30分

●読書会

とき 26日(月)13時30分～15時
内容 「ひとりぼっちの動物園」(灰谷 健次郎/
著)を読み解く

本郷図書館(☎0848・85・0703)

●こんぺいとう おはなし会

とき 22日(木)10時30分～11時

ほんごう子ども図書館(☎0848・86・6066)

●おはなし会

とき 6日(火)10時30分～11時、24日(土)14
時～15時

●クリスマスのおはなし会

とき 10日(土)14時～15時

久井図書館(☎0847・32・7138)

●おはなし会

とき 17日(土)13時30分～14時

大和図書館(☎0847・33・1115)

●絵本とおはなしの時間

とき 10日・31日を除く土曜日10時30分～11時、
11日(日)14時～14時30分

おすすめ本

『転んでも、大丈夫 ぼくが義足を作る理由』

うすい ふみお
臼井 二美男/著

「新しい人生を、前むきにふみだ
すきっかけづくりがしたい」。事故
や病気で手足を失った人たちを、心
身ともに根気強く支え続ける義肢装
具士が、仕事への熱い思いを語る。



認知症講演会

とき 14日(水)14時～15時30分
 ところ 中央公民館
 テーマ 認知症になっても戸惑わないために、預貯金の管理・手



続きできなくなったら、

講師 認知症対応型共同生活介護事業所管理者 鳥越 小百合さん
 定員 150人(申し込み先着順)
 申し込み先 高齢者福祉課(☎0848・67・6055)

運動機器利用のための講習会

とき 15日(木)13時30分～15時30分
 ところ サン・シープラザ3階
 内容 安全で効果的に運動機器を利用するための講習

対象 要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の人



定員 10人(申し込み先着順)
 申し込み先 高齢者福祉課(☎0848・67・6055)

健康づくり推進員情報交換会

とき 9日(金)10時～12時
 ところ 本郷生涯学習センター
 内容 活動報告と意見交換
 対象 健康づくり推進員
 申し込み 8日(木)までに保健福祉課(☎0848・67・6053)へ

難病講演会・交流会

とき 16日(金)14時～15時30分
 ところ 県東部保健所(尾道市古浜町)
 内容 もやもや病の治療と日常生活について
 講師 脳神経センター大田記念病院副院長 佐藤倫由さん
 申し込み先 県東部保健所(☎0848・25・4640)

こんにちは 保健師です



女性の死因トップ 大腸がんは検診で早期発見を

厚生労働省の調査によると、平成27年にがんで死亡した人は約37万人、総死者数の約3割を占め、がんは昭和56年以来、35年連続で日本人の死亡原因第1位となりました。

どの部位のがんで死亡した人が多いかを見ると、男性は肺がん、女性は大腸がんが最も多く、部位別の患者数は男女ともに大腸がんが最も多くなっています。大腸がんにかかる人は、この30年で6倍も増えています。

大腸がんは初期の自覚症状がほとんどないため、検診での早期発見が大変重要です。年1回の検診を受け続ければ、大腸がんでの死亡する確率を約8割減らせるという国の報告もあります。ただ、本市のがん検診受診率は20%程度にとどまっているのが現状です。

大腸がん検診は、便に含まれる血液の有無を調べる検便で、事前に採った便を検査機関へ提出するだけの負担の少ない検査です。昨年度は市の検診で9人(うち早期6人)から大腸がんが見つかりました。

市の大腸がん検診は、40歳以上の人なら、年度に1回、600円の自己負担で受診できます。大腸がんは早期発見・治療できれば治癒が可能といわれる病気ですので、とりわけ検診が大切です。

三原市保健師 國次美和

精神保健福祉相談

とき 21日(水)13時30分～15時30分
 ところ 県東部保健所(尾道市古浜町)

内容 精神科医師による相談
 相談料 無料
 申し込み 16日(金)までに県東部保健所(☎0848・25・4640)へ

糖尿病予防教室

とき 来年1月11日(水)14時～15時30分
 ところ 城町庁舎2階 大会議室
 内容 糖尿病の予防について
 講師 興生総合病院総院長 難

薬局で糖尿病のリスク測定ができます

実施薬局 ウォンツ本郷薬局(下北方二丁目☎0848・60・6311)

期間 来年1月末まで

※通年で実施している薬局については、市ホームページで確認してください。

内容 血糖値の自己測定、薬剤

師による結果説明と指導

対象 特定健康診査を受診して

いない人

測定料 無料

問い合わせ先 保健福祉課(☎0848・67・6053)

みんなのなんでも相談

とき 15日(木)13時30分～15時30分
 ところ 大和保健福祉センター
 内容 精神科医師による相談
 定員 2人(申し込み先着順)
 申し込み 13日(火)までに大和保健福祉センター(☎0847・34・0960)へ

対象 波康男さんほか

定員 50人(申し込み先着順)

申し込み先 保健福祉課(☎0848・67・6053)

内容 血糖値100mg/dl以上、またはヘモグロビンA1c5.6%以上の人

実施期間 来年1月末まで

問い合わせ先 保健福祉課(☎0848・67・6053)

祝日・年末年始の 小児科救急当番医院



とき	医療機関名
12月23日(金) 8時30分～17時30分	三原市医師会休日夜間急患診療所(宮浦一丁目) (☎0848・67・7040)
29日(木)	8時45分～12時 木原こどもクリニック(円一町一丁目) (☎0848・61・0321)
	9時～12時 わきた小児科(宮浦六丁目) (☎0848・67・7999)
31日(土)	9時～12時、13時～16時30分 三原赤十字病院(東町二丁目) (☎0848・64・8111)
1月1日(日)	9時～12時、14時～16時30分 興生総合病院(円一町二丁目) (☎0848・63・5500)
2日(月)	8時30分～17時30分 三原市医師会休日夜間急患診療所(宮浦一丁目) (☎0848・67・7040)
3日(火)	9時～12時、14時～16時 わきた小児科(宮浦六丁目) (☎0848・67・7999)
9日(月)	8時30分～17時30分 三原市医師会休日夜間急患診療所(宮浦一丁目) (☎0848・67・7040)



キッズチャレンジ教室

とき 17日(土)10時30分～12時30分
ところ サン・シープラザ3階
内容 煮込みハンバーグ作り
対象 3～6歳児と保護者
定員 10組(申し込み先着順)
申し込み 13日(火)までに保健

福祉課(☎0848・67・6053)へ
母子保健推進委員会さん
と過ごすそう

●ベビーサロン

とき 22日(木)10時30分～11時40分
ところ サン・シープラザ4階
内容 ふれあい遊びなど
対象 0歳児と保護者
用意する物 バスタオル
問い合わせ先 保健福祉課(☎0848・67・6061)
●ぴよぴよクラブ
とき 9日(金)9時40分～11時
ところ 久井保健福祉センター
内容 図書館ツアー

ハッピーランド

対象 未就園児と保護者
問い合わせ先 久井保健福祉センター(☎0847・32・8551)
とき 8日(木)・27日(火)10時～12時、13時15分～14時45分
ところ サン・シープラザ4階
内容 子育て相談、親子遊びの紹介など
対象 2歳までの子と保護者
問い合わせ先 子育て世代包括支援センター(☎0848・67・6217)

産前・産後セルフケア教室

とき 8日(木)①10時～12時
 ②13時～15時

ところ サン・シープラザ4階
内容 乳房ケア、ストレッチなどの紹介
対象 ①妊娠中の人②産後4カ月までの人
定員 各15人(申し込み先着順)
申し込み 開催日の前日までに子育て世代包括支援センター(☎0848・67・6217)へ

子育て応援相談

とき 6日(火)・15日(木)10時～12時、13時～14時30分

ところ サン・シープラザ3階
内容 乳幼児の発達や子育て相談、専門機関の紹介など
対象 乳幼児と保護者
申し込み先 子育て世代包括支援センター(☎0848・67・6217)

子育て支援センターでの相談

とき 8日(木)
 ※受け付けは10時～10時30分。
ところ あやめが丘保育園
内容 身体測定、育児・栄養・歯科相談、遊びの広場
対象 乳幼児と保護者
用意する物 母子健康手帳
問い合わせ先 保健福祉課(☎0848・67・6061)

私立幼稚園の授業料を補助

申請期限 26日(月)まで
ところ 教育振興課(城町庁舎2階)
対象 私立幼稚園に通園、または来年1月～3月に入園を予定している幼児(平成22年4月2日～平成26年3月30日生まれ)のいる世帯
 ※申請は、年度につき幼児1人当たり1回です。

用意する物

印鑑
 ※今年1月2日以降に転入した人は平成28年度市町村民税課税

証明書が必要です。
問い合わせ先 教育振興課(☎0848・67・6151)、通園している幼稚園

母乳育児相談

とき 2日(金)・9日(金)
 ※いずれも10時～12時、13時～15時のうち1時間。
ところ サン・シープラザ3階

内容 乳房ケア、自己マッサージ方法の紹介など
対象 出産前後の人
定員 各4人(申し込み先着順)
申し込み 相談日の前日までに子育て世代包括支援センター(☎0848・67・6217)へ

離乳食教室

とき 2日(金)①10時～10時40分②11時～11時40分
ところ 本郷保健福祉センター
内容 離乳食の進め方、試食など
対象 ①4～6カ月児②7～10カ月児の保護者
定員 各20人(申し込み先着順)
申し込み先 本郷保健福祉センター(☎0848・86・3609)





笑顔あふれる明るい未来へ
⑪
身元調査をなくすために

平成23年、一部の司法書士や弁護士が立場を悪用して大量の戸籍謄本などを全国の自治体から不正に取得し、高額で売買していたことが発覚しました。これらの個人情報、結婚や就職の際の身元調査などに使われていました。このような身元調査は、重大な人権侵害であり、どのような理由があろうとも、決して許されるものではありません。

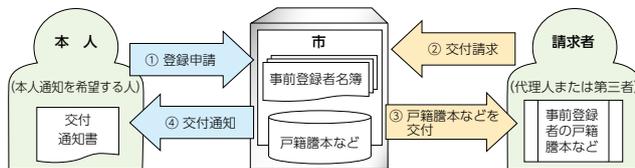
それでも、不正取得した個人情報を買取る悪質な業者がいなくならないのは、こうした情報を欲しがって、調査を依頼する人や組織がいることが背景の一つにあります。

身元調査をなくしていくためには、身元調査が差別につながることを認識し、差別を許さない行動と、誰が、いつ、不正な行為により人権を侵害しようとしたのが、これまでよりも明確に分かるような仕組みづくりが大切です。

市では8月から、戸籍謄本や住民票などの不正取得の抑止、人権侵害の防止を図るため、登録型本人通知制度について

め、登録型本人通知制度（広報みはら7月号に掲載）の運用を始めました。この制度に登録すれば、第三者が自分の個人情報を請求した場合、通知を受けることができます。登録は市民課と各支所地域振興課で受け付けています。

この機会にぜひ、登録型本人通知制度を利用してください。



登録型本人通知制度の流れ

人権標語

（中学3年生の作品）

もつな偏見 やめよう差別

個人権推進課（人権問題について）

☎0848・67・6044

市民課（登録型本人通知制度について）

☎0848・67・6175

児童館へおいでよ！

申し込み先 児童館 ☎☎兼用0848・67・1123

親子でわいわいクリスマス会

とき ①8日(木)②14日(水)
10時30分～12時
内容 クリスマス工作、
ブラックシアター
対象 ①0～1歳児②2歳～未就
園児と保護者
定員 各20組
参加費 150円

リトミックランド

とき 15日(木)・16日(金)
①10時30分～11時
②11時15分～11時45分
内容 リトミック(音楽遊び)
対象 ①0歳児②15日＝2歳～未就
園児、16日＝1歳児と保護者
定員 各15組

親子ストレッチ

とき 21日(水)①10時～10時45
分②11時～11時45分
対象 ①0～1歳児
②2歳～未就
学児と保護
者
定員 各30組



季節工作

とき 11日(日) 10時
30分～12時
内容 ミニ門松作り
対象 5歳児以上と
保護者
定員 30組 参加費 500円



茶の心～和親庵～

とき 17日(土)10時15分～11時15分～
ところ サン・シープラザ4階
内容 お茶のお点前
対象 3歳児以上
※未就学児は保護者同伴。
定員 各10人 参加費 250円
用意する物 ハンカチ・白い靴下

児童館クリスマス会

とき 23日(金) 10時30分～12
時30分
内容 クリスマスコンサート、
ビンゴ大会
対象 3歳児以上
※未就学児は保護者同伴。
定員 40人 参加費 300円

※いずれも申し込み先着順です。申し込み受け付けは1日(木)10時からです。
※開館時間は10時～17時30分です。月曜日は休館日です。

くらしの無料相談窓口

相談日などは変更する場合があります。事前に確認してください。

	相談の種類	と き	と ころ	申し込み・問い合わせ先	
法律・生活	弁護士法律相談	16日(金)※要予約。受け付けは5日(月) 8時30分から。	13時～16時	中央公民館	生活環境課 (☎0848・67・6178)
		14日(水)・21日(水)※いずれも要予約。利用には収入などの条件があります。	10時～16時	広島地方裁判所尾道支部(尾道市新浜)	広島弁護士会尾道地区会 (☎0848・22・4237)
	司法書士法律相談 法的トラブルの解決法・窓口の案内	祝日、29・30日を除く月～金曜日	12時～15時	電話相談 広島相談センター	(☎082・511・7196)
			9時～16時	電話相談 法テラス広島	(☎050・3383・5485)
	消費生活相談	祝日、29・30日を除く月～金曜日	9時～12時、13時～16時	市役所本庁5階 ※電話相談可。	消費生活センター (☎0848・67・6410)
	消費生活巡回相談	9日(金)・16日(金)・22日(木)※要予約。	14時～16時	本郷・久井・大和支所	
	自立サポート相談	祝日、29・30日を除く月～金曜日	8時30分～17時15分	サン・シープラザ4階	自立相談支援センターみはら (☎0848・67・4568)
	成年後見専門相談	8日(木)※要予約。	14時～16時	サン・シープラザ3階	障害者生活支援センター (☎0848・63・3319 ☎0848・63・3359)
	交通事故・民事・家事相談	祝日、29・30日を除く月～金曜日	9時～17時	電話相談 県生活センター	(☎082・223・8811)
			12日(月)・26日(月)	10時～12時、13時～16時	電話相談 県東部地域県民相談室尾道支所 (☎0848・25・2011)
	暴力団関係相談	祝日、29・30日を除く月～金曜日	9時～17時	電話相談 暴力追放広島県民会議	(☎082・228・5050)
	不動産相談	2日(金)・16日(金)	10時～15時	サン・シープラザ4階	
	戦没者遺族相談	1日(木)・15日(木)	13時～16時	サン・シープラザ3階	社会福祉協議会 (☎0848・63・0570)
	行政相談	19日(月)			
	障害者なんでも相談	21日(水)※要予約。	14時～16時	本郷福祉センター	障害者生活支援センター (☎0848・63・3319 ☎0848・63・3359)
7日(水)※要予約。		10時～12時	久井保健福祉センター		
2日(金)※要予約。			大和保健福祉センター		
心配ごと相談	祝日、30日を除く金曜日	13時～16時	サン・シープラザ3階	社会福祉協議会・各地域センター (☎0848・63・0570)	
	14日(水)・28日(水)		本郷福祉センター	(☎0848・86・3607)	
	7日(水)・21日(水)	久井保健福祉センター	(☎0847・32・7101)		
	16日(金)	9時～12時	大和人権文化センター	(☎0847・33・1308)	
	2日(金)		大和保健福祉センター	(☎0847・34・1214)	
若者向け就職相談	21日(水)※要予約。	9時～12時	ハローワーク三原	ふくやま地域若者サポートステーション (☎084・959・2348)	
教育・子育て	学校生活・勉強などの悩み相談	祝日、29～31日を除く月～土曜日	9時～17時45分(土曜日は8時30分～17時15分)	リージョンプラザ2階 ※電話相談可。	三原ふれあい相談室 (☎0848・64・7201)
	学校生活の悩み・体罰などの相談	祝日、29・30日を除く月～金曜日	8時30分～17時15分	電話相談 三原子どもサポートダイヤル ※時間外は留守番電話で対応。	(☎0848・67・6173)
	療育・教育相談	5日(月)・26日(月)	13時～16時	サン・シープラザ3階	社会福祉協議会 (☎0848・63・0570)
	児童虐待通告窓口	毎日	24時間	電話相談 保健福祉課	(☎0848・67・6088)
家庭児童相談	祝日、29・30日を除く月～金曜日 ※14日(水)は要予約。	9時30分～16時	サン・シープラザ3階	家庭児童相談室 (☎0848・61・0121)	
健康	アレルギー疾患相談	20日(火)	13時30分～15時30分	県東部保健所(尾道市古浜)	県東部保健所 (☎0848・25・4641)
	健康相談	祝日、29・30日を除く月～金曜日	8時30分～17時15分	各保健福祉センター	保健福祉課 (☎0848・67・6053)
	認知症相談	祝日、29日を除く火・木曜日	13時～16時30分	電話相談 県地域包括ケア推進センター (☎082・553・5353)	
人権	人権相談	祝日、30日を除く火・水・金曜日	10時～16時	サン・シープラザ3・4階	人権推進課 (☎0848・67・6044)
		5日(月)	13時～16時		
		29日を除く月・木曜日	10時～16時		
	女性相談	祝日、29・30日を除く月～金曜日	10時～16時	人権文化センター	(☎0848・66・1111)
				本郷人権文化センター	(☎0848・86・3333)
				大和人権文化センター	(☎0847・33・1308)
女性相談	8時30分～17時15分	電話相談 法務局常設電話相談所	(☎0570・003・110)		
女性の人権相談	9時30分～16時	サン・シープラザ3階	女性相談室 (☎0848・61・0122)		
子どもの人権相談	8時30分～17時15分	電話相談 女性の人権ホットライン 電話相談 子どもの人権110番	(☎0570・070・810) (☎0120・007・110)		
水防・災害対策本部専用電話			(☎0848・67・6868 ☎0848・67・6164)		



▲祭りのフィナーレは牛そり逆転レース。力自慢の皆さんが、一秒でも早くと総重量300kg以上のそりを力いっぱい引っ張りました(10/23 第5回久井さわやか高原祭り 久井保健福祉センター周辺)



▲紅葉の名所として知られる佛通寺。見ごろを迎えた11月中旬には多くの人が訪れました(11/3~27 秋の特別拝観 佛通寺)



▲来年の三原城築城450年を前に、三原城を再現した光のオブジェが登場。ドーム屋根には小早川家の家紋「左三つ巴」が投影されています(11/5~1/8 ウィンタイルミネーション 芸術文化センターポポロ)



▲自然豊かな白竜湖湖畔がコースのマラソン大会。スタートの合図とともに、選手の皆様は勢いよく駆け出しました(11/6 第33回白竜湖ふれあいグリーンマラソン大会 大和町)



▲恒例となった小早川甲冑部隊の練り歩きに、今年は手作りの甲冑で子どもたちも参加。会場のたこ料理コーナーも大にぎわいでした(11/5・6 第13回三原浮城まつり JR三原駅前・三原港周辺)



若者 × 情熱 ミハラのチカラ

STORY 09

自分らしく表現し続けたい

画家 佐々木高信さん

「生まれ育った三原で自分だけの表現を生み出したい」。病いを克服し、その経験をばねに美術界に新風を吹き込もうとしているのは、糸崎在住の画家 佐々木高信さんです。

中学時代から本格的に油絵を始め、高校卒業後、画家を志して東京の美術大学に進学した佐々木さん。在学中、自分の内面をキャンバスへ投影するような抽象画に取り組みうち、心身に異変を感じるようになりなりました。

「都会の複雑な人間関係の中で、必死に自分の絵を模索した。描くたびに精神を引き裂かれるような感覚があった」。好きだったはずの絵を描くこ



▲絵は下書きをせず、一気に描き上げます

とが次第に辛くなり、大学院を修了したときにはうつ状態になっていた。三原へ戻っても必死にキャンバスに向かい続けましたが、体調不良の中での創作は限界にきていました。幻覚や妄想に襲われ、病院で統合失調症と診断されました。入退院を繰り返し、「ただ部屋に座り、絵筆もとらなかつた」日々が3年間続きました。

適切な医療と周りの支えの甲斐もあり、5年前から病状が回復。創作意欲を取り戻し、モチーフに選んだのは昔遊んだ糸崎の工業地帯でした。「ここが僕の原風景。スケッチしているとき気が持ちはるやかなり、絵が楽しかったころを思い出した」。その後、自画像をテーマにした作品に取り組み、個展も開きました。

今、制作しているのは、絵とオブジェを組み合わせた作品。「異なるものを融合して、変換し、新たな表現を生み出す」のがねらいです。「ようやく自分だけの作風にとどり着いたかもしれない」と表情が緩みます。



※このコーナーでは、スポーツや文化・芸術活動などに情熱を注ぐ若者や子どもたちを紹介します。

海を歩く

なかもと はるな

撮影者 中本遥菜さん

撮影エピソード

毎年恒例のポポロでのイルミネーション。築城から450年が経ち、現代によみがえった浮城 三原城の姿に圧倒されました。



●撮影年月 平成28年11月
●撮影場所 芸術文化センターポポロ



写真・絵を募集しています

テーマ

～あなたが残したい三原の風景～

応募資格 市内在住・在勤・在学の人

選考 総務広報課で選考

※応募作品の著作権は市に帰属し、市の公式フェイスブックで紹介させていただく場合があります。

※応募作品は返却しません。

申し込み 郵送またはEメールで写真(L判・データ)か絵(大きさは画用紙A3サイズまで)と①名前②住所・電話番号③撮影・制作日④撮影・題材場所⑤作品名⑥作品エピソード(70字以内)を総務広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848-67-6007 somukoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ

☎問い合わせ先

三原の光を観よう、 魅せよう。…… 20



瀬戸内三原
築城450年事業

「ふるさと三原」を次の世代へと伝えていく連載企画。県立広島大学三原キャンパスの学生と三原の歴史や文化を再発見していきます。



作業療法学科2年
井原 舞さん



天下人・豊臣秀吉。秀吉は「日本の本は、西は小早川隆景に、東は徳川家康に任せておけば安泰」と言っただけ、隆景を高く評価し、豊臣政権では政治をつかさどる五大老の1人に取り立てていました。

市内にはそんな2人にまつわる場所がいくつもあります。今月はその中から、八幡町の御調八幡宮を井原舞さんと訪ねました。

「奈良時代、僧侶の道鏡が皇位に就くのを阻止しようとした和木清麻呂は、逆に孝謙天皇の怒りを買って、大隅国(現在の鹿児島県)へ、姉の和氣広虫はここへ流刑されたんですよ。」

「確か、天皇に気に入られた道鏡が後継ぎの座を狙った事件ですよ」と井原さん。



「広虫が清麻呂の無罪放免を願って建てたのが御調八幡宮の始まりとされています」と話をしながら境内を進みます。

「朱色の橋と大きな絵馬が印象的」と見上げる井原さん。

「秀吉は朝鮮出兵の途中で三原城に滞在し、その際に御調八幡宮を参拝したと伝わっています。境内には秀吉が手植えをしたとされる枝の切株も残っているそうですよ。」

「降景はここに秀吉を案内し、桜を植える姿を見守ったのかもしれないですね。」

「御調八幡宮は創建以来、源頼朝、足利義政など、ときの権力者によって大切に守られてきた神社です。」

「教科書に出てくる超有名なばかり。しっかりと参拝しなぐちゃ」と井原さん。

参拝後は、やはりた川自然公園を散策。



遊歩道も整備されているので散策しやすいですよ

☎築城450年事業推進担当室
☎0848-610450
御調八幡宮
☎0848-658652



学業お守りに決めた!

三原市の人口 (10月31日現在)
※外国人住民を含む。
※()内は前年同月との比較。

世帯数	44,184 世帯 (+114)
人口	97,154 人 (-854)
男	46,557 人 (-306)
女	50,597 人 (-548)

人口移動の詳細については
広島県 人口移動 月報 で
検索

税などの納期 (普通徴収)

- 固定資産税・都市計画税(第3期)
- 国民健康保険税(第6期)
- 介護保険料(第6期)
- 後期高齢者医療保険料(第6期)

納期限 12月26日(月)
夜間収納窓口(19時まで)
29日を除く木曜日

航空機の騒音測定結果(10月分) (Lden)

- ▶正広局(本郷町善入寺正広)=48.0
- ▶本郷局(本郷町船木川西上)=53.5

あ・と・が・き
達人。豊富な経験と長年の鍛錬により、その道の真髄を体得した人(大辞林より)。言葉にするのは簡単ですが、その裏にどれほどの地道な努力の積み重ねがあったのでしょうか。特集の取材で三原の食に関わる達人たちとお会いしました。皆さんに共通するのは、実に飄々と、さも当たり前のように振る舞われる点。なるほど、これが達人の境地▼平成28年最後の広報みはらとなる今号。今年もたくさんの方に取材にご協力いただきました。来年はどんな達人にお会いできるのか、今から楽しみです(S)